

「公共施設」に関する市民アンケート調査結果
報告書

平成 27 年 9 月

朝 来 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. 配布・回収状況	1
4. 調査項目	1
5. 報告書を読む際の留意点	2
II 調査結果（要旨）	3
III 調査結果	4
1. 回答者の属性（問1・問2）	4
問1（性別、年齢、家族構成、居住地域、居住年数）	4
問2【移動手段】	7
2. 公共施設の利用状況、立地状況（問3・問4）	8
問3（利用頻度、利用していない理由）	8
問4（地域における施設の立地状況等）	20
3. 今後の公共施設のあり方についての考え（問5～問10）	24
問5（公共施設の更新問題への関心）	24
問6（公共施設の整備のあり方）	26
問7（公共施設の更新費用の負担を減らす方策）	29
問8（公共施設の削減の視点）	33
問9（公共施設のあり方検討における情報共有のあり方）	36
問10（公共施設の活用アイデア）	38
4. 自由意見（問11）	41
参考資料（調査票）	43

I 調査の概要

1. 調査の目的

朝来市では、これまで多様化する市民ニーズに対応するため、庁舎、学校、公民館、図書館、文化ホール、体育館、温水プール、市営住宅など多くの公共施設を整備してきた。

しかし、公共施設の老朽化が進み、大規模な改修や建替えが必要となるなか、人口減少、少子高齢化の進行による人口構成の変化や厳しい財政状況により、全ての施設を適切に維持することが困難であり、今後の公共施設の適正な管理運営に向けたあり方の検討に取り組む必要がある。

本調査は、朝来市における今後の公共施設※の施設のあり方を検討するにあたり、広く市民の利用状況や考えを把握することを目的として実施したものである。

アンケート結果は、今後の公共施設マネジメントに関する各種の取り組みを検討・推進する上で
の基礎資料とする。

※市が保有している公共施設のうち、建物系の施設（いわゆるハコモノ）を対象としている。

2. 調査の実施概要

調査対象	18歳以上の市民2,000人（地域によってサンプルが過少とならないよう抽出数を考慮した上で、住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
実施期間	平成27年6月24日～7月8日

3. 配布・回収状況

配布数2,000票に対し、有効回収数は683票で、有効回収率は34.2%であった。

4. 調査項目

- ア 回答者の属性（問1）、移動手段（問2）
- イ 過去1年間の公共施設の利用頻度、公共施設を利用していない理由（施設種類別）（問3）
- ウ 地域における機能の充足状況、優先的に維持・確保すべき機能（問4）
- エ 公共施設の更新問題の認知度（関心度）（問5）
- オ 今後の公共施設の整備（総量見直し）のあり方（問6）
- カ 公共施設の更新費用の負担を減らす方策（問7）
- キ 公共施設の削減の重点（優先的に複合化や統廃合を行なうべき公共施設）（問8）
- ケ 公共施設のあり方検討における情報共有のあり方（問9）
- コ 公共施設の活用アイデア（問10）
- サ 自由意見（問11）

5. 報告書を読む際の留意点

1) 用語・符号等

n	質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
SA	単一回答（択一）の設問を示す。
MA	複数回答の設問を示す（回答の合計を回答者数で割ると通常 100%を超える）。

2) 結果数値

数値（%）は、各実数をもとに比率表示し、小数第2位を四捨五入している。したがって、内訳の合計が 99.9%や 100.1%など、100.0%に一致しないことがある。

3) 信頼区間

本調査は標本調査のため、抽出における誤差等を考慮する必要がある。通常、世論調査などでは、信頼度 95%（同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的である。誤差の近似値は次式で求められ、信頼区間は下表のようになる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{(N-n) \cdot P(100-P) / (N-1) \cdot n}$$

N：母集団数（32,131人(H27.3末)）、n：標本数（683）、P：測定値（%）

【信頼度 95%における主要な%の信頼区間】

回答(%)	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
n	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
<全体(683件)>										
誤差	±1.6	±2.2	±2.6	±3.0	±3.2	±3.4	±3.5	±3.6	±3.7	±3.7
<以下、クロス集計時の主要な標本数別の信頼区間>										
400	±2.1	±2.9	±3.5	±3.9	±4.2	±4.5	±4.6	±4.8	±4.8	±4.9
200	±3.0	±4.1	±4.9	±5.5	±6.0	±6.3	±6.6	±6.8	±6.9	±6.9
150	±3.5	±4.8	±5.7	±6.4	±6.9	±7.3	±7.6	±7.8	±7.9	±8.0
100	±4.3	±5.9	±7.0	±7.8	±8.5	±9.0	±9.3	±9.6	±9.7	±9.8
50	±6.0	±8.3	±9.9	±11.1	±12.0	±12.7	±13.2	±13.6	±13.8	±13.8
25	±8.5	±11.8	±14.0	±15.7	±17.0	±18.0	±18.7	±19.2	±19.5	±19.6

【表の見方】

例えば、ある設問で全体の回答が 80%の場合、真の値は 77.0%から 83.0%の間にあると推定してよい（80%±3.0%）。その推定が正しい確率は 95%程度である。なお、上記表は回答比率を 5%きざみで示しているが、回答が 79%のような場合は上記表から最も近い 80%における数値を読み取り、類推すればよい。クロス集計時の標本数についても同様である。

4) その他

問 10、問 11 の自由記述回答については文意を損なわない程度に編集し集計している。

Ⅱ 調査結果（要旨）

(1) 公共施設の利用状況

- ・過去1年間の公共施設の利用頻度をみると、すべての公共施設で「年に数回程度」または「利用していない」との回答が8割以上を占め、頻繁に利用している人は限られています。(P9)
- ・利用頻度の低い理由としては、「利用する機会がない」が概ね8割以上となっています。(P10)
- ・利用頻度の高い人（「週に1回以上」、「月に1回以上」）の割合をみると、「図書館」、「産業(物産施設)」が比較的利用されています。(P9)

(2) 暮らしを支える機能

- ・居住地域における生活サービス機能の現状について、「レジャー・娯楽機能」「高齢者支援機能」については不満が多くなっています。(P21)
- ・居住地域において維持・確保すべき機能については、「高齢者支援機能」、「防災機能」、「子育て支援機能」の回答が多く、日常生活における安全・安心の確保が重視されています。(P21)

(3) 今後の公共施設の整備のあり方

- ・今後の公共施設の整備の方向性について、全体の8割が「公共施設の必要性を見直し、必要性の乏しいものについては複合化や統廃合などを推進し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」と回答しています。(P26)
- ・公共施設の更新費用の負担を減らす方策については、市の保有財産の有効活用や、統廃合や複合化による総量縮減を積極的に実施すべきという回答が多い一方で、増税等の負担増には反対しています。(P29)
- ・公共施設を見直す際の視点として、利用実態（「あまり利用されていない施設」）を最も重視しており、次いで、施設の安全性（「老朽化が著しい施設」）を重視しています。(P33)

(4) 情報共有のあり方

- ・公共施設の更新問題に関心がある人は全体の7割となっていますが、若い世代ほど関心がない人の割合が高い傾向がみられます。そのため、特に次代を担う若い世代が入手しやすい情報提供により、効果的な啓発を行うことが求められます。(P24)
- ・公共施設のあり方についての情報は、「公共施設のあり方に関する情報や検討経過などの市のホームページ・広報誌への掲載」により共有していくことが良いとの回答が5割となっています。(P36)

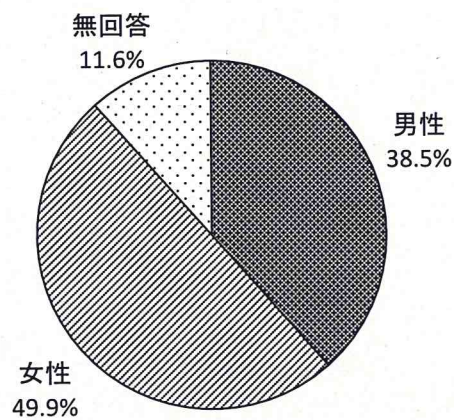
Ⅲ 調査結果

1. 回答者の属性（問1.問2）

問1 性別、年齢、家族構成、居住地域、居住年数

(ア) 性別

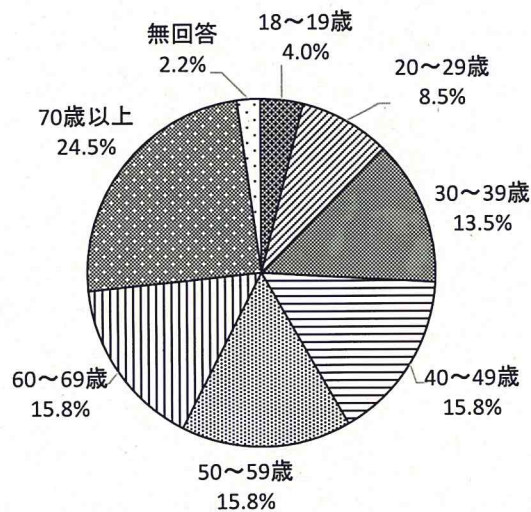
・女性 49.9%、男性 38.5%であり、女性が半数を占めている。



(SA n=683)

(イ) 年齢

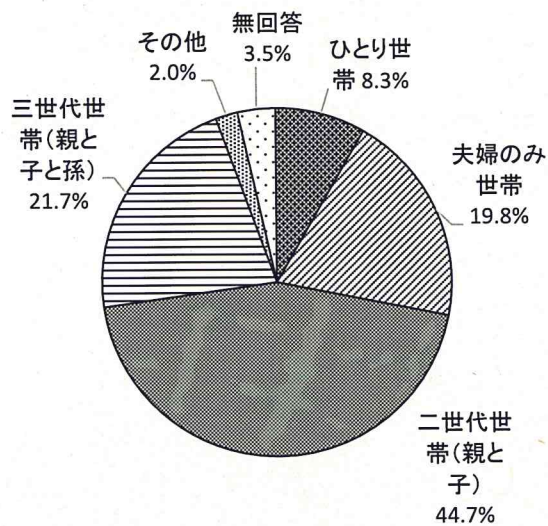
・各年代に分布しているが、60歳以上が4割を占めやや多く、30歳未満は1割とやや少ない。



(SA n=683)

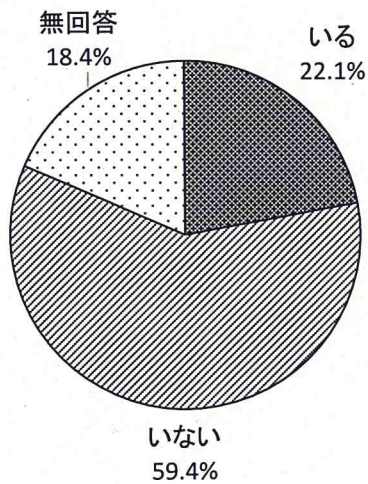
(ウ) 家族構成

- ・二世世代世帯（親と子）44.7%、三世世代世帯（親と子と孫）21.7%、夫婦のみの世帯、ひとり世帯をあわせて3割となっている。
- ・中学生以下がいる世帯は22.1%。半数の世帯に65歳以上の高齢者がいる。



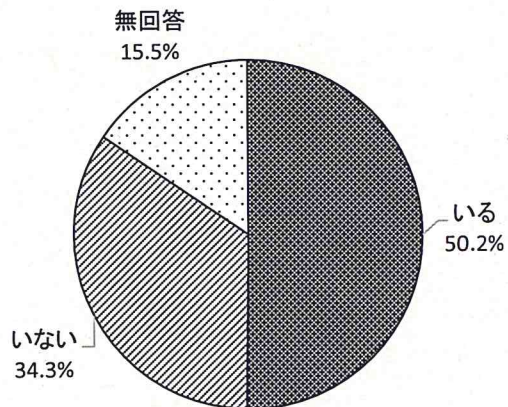
(SA n=683)

中学生以下



(SA n=683)

65歳以上

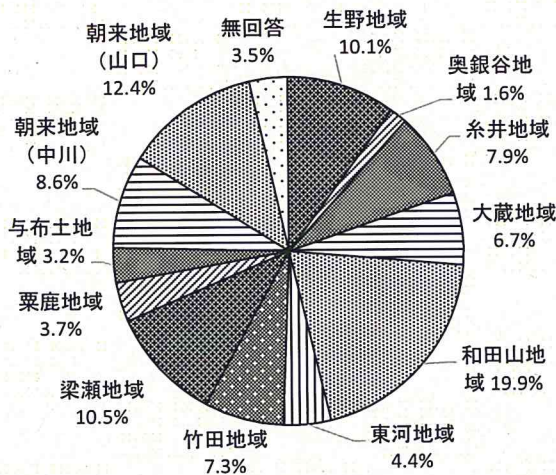


(SA n=683)

(工) お住まいの地域

・10%を超えるのは、和田山地域、朝来地域（山口）、梁瀬地域、生野地域。他地域は、10%未満となっている。

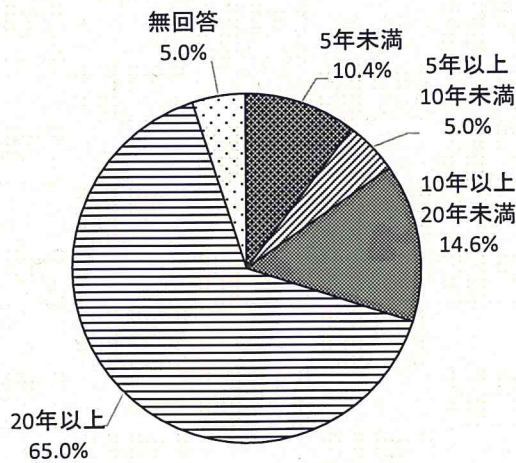
【地域区分図】



(SA n=683)

(才) 居住年数

・20年以上が65.0%を占め、居住年数の長い居住者が多い。

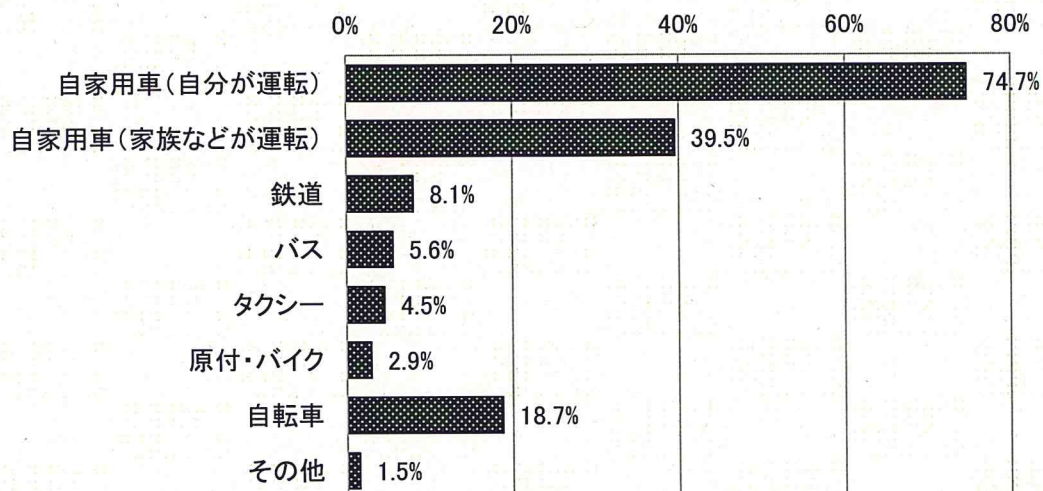


(SA n=683)

【移動手段】

問2 日常生活を支える移動手段について、徒歩以外で主なものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

・徒歩以外での移動手段は、自動車利用（自分が運転）74.7%、自動車利用（家族などが運転）39.5%、自転車18.7%が中心で、公共交通での移動は少ない。



(MA n=683)

2. 公共施設の利用状況、立地状況（問3.問4）

【利用頻度、利用していない理由】

問3 あなたは、過去1年間に、以下に示す分類の施設をどのくらい利用しましたか。分類ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。
また、「①利用頻度」で「3」または「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選び（複数回答可）、番号に○印を付けてください。

分類	項目	①利用頻度				②利用していない理由（複数回答可）						
		1 週に1回以上	2 月に1回以上	3 年に数回程度	4 利用していない	1 アクセスが不便	2 施設自体を知らない	3 利用時間や利用料金に不満	4 設備に不満（古い、狭い等）	5 他市の類似施設を利用	6 民間の類似施設を利用	7 利用する機会がない
記入例)		1	2	③	4	①	2	3	4	⑤	6	7
1) 公民館等（区公民館を除く）		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
2) 文化ホール		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
3) 図書館		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
4) 博物館・資料館等		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
スポーツ 施設	5) 温水プール	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
	6) 体育館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
	7) その他 （ゲートボール場等）	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
8) レクリエーション施設		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
9) 産業（物産）施設		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7

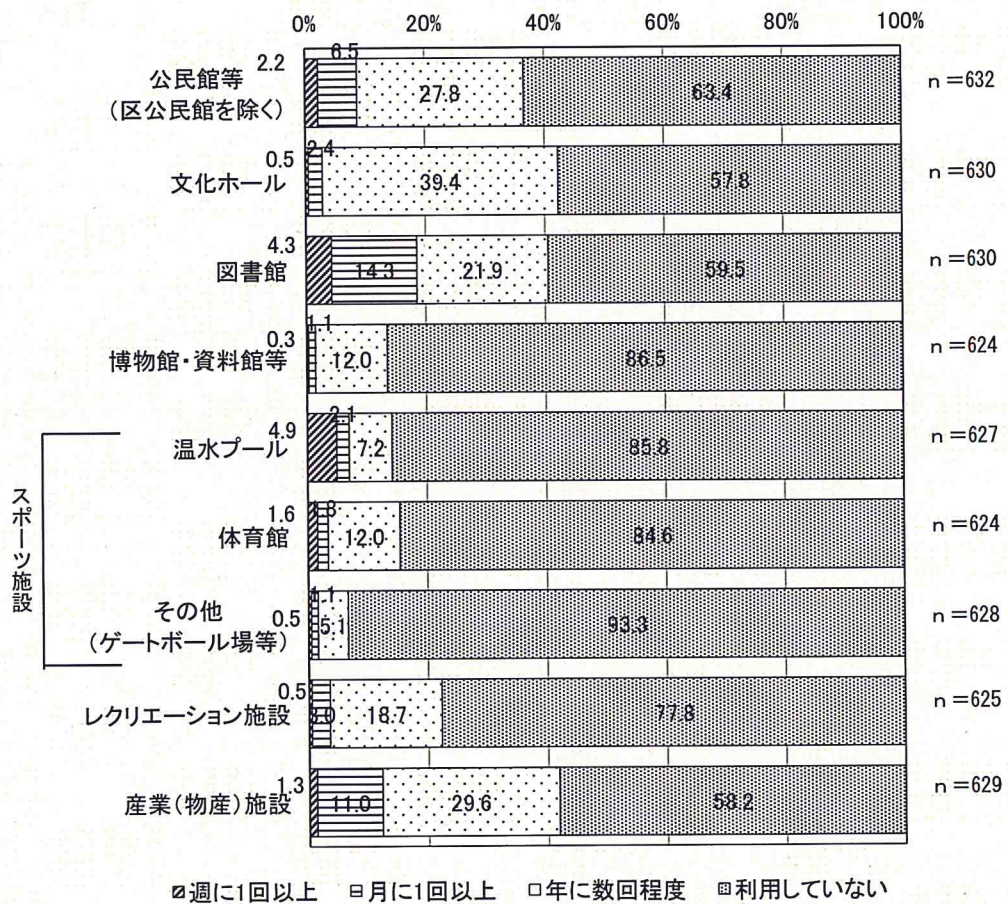
具体的な主な施設はP2を参照

3・4を選択した場合には、理由に○印を記入（複数回答可）

● 8割以上が公共施設をほとんど利用していない。

- ・公共施設の分類によって利用状況は異なるものの、すべての公共施設で「年に数回程度」と「利用していない」をあわせた割合が8割を超えており、公共施設を頻繁に利用する人は限られている。
- ・「月に1回以上」利用している割合が多いのは、「図書館」で18.6%、「産業（物産）施設」で12.3%などとなっている。また、「温水プール」については、利用度は低いものの「週に1回以上」の利用頻度の高い人が4.9%と比較的多い。
- ・「利用していない」「年に数回程度」と回答した人の利用していない理由については、各施設ともに「利用する機会がない」が突出して多く、他の回答はごく少ない。「博物館・資料館等」「レクリエーション施設」等は「施設自体を知らない」、「産業（物産）施設」は「民間の類似施設を利用」もやや多い。

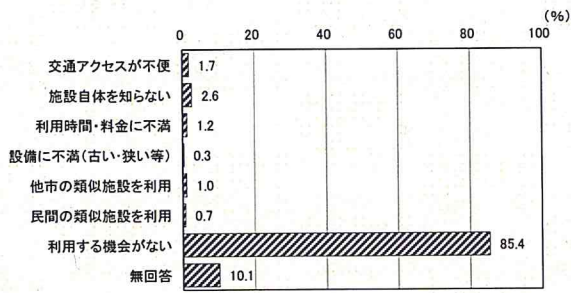
利用頻度（全体）



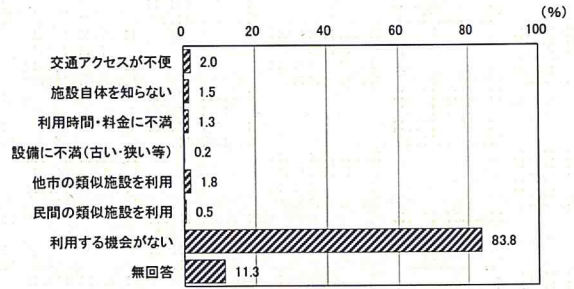
(SA 無回答を除き集計)

利用していない理由（全体）

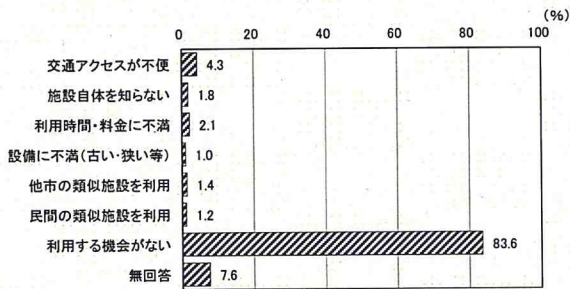
公民館等（区公民館を除く） (MA n=577)



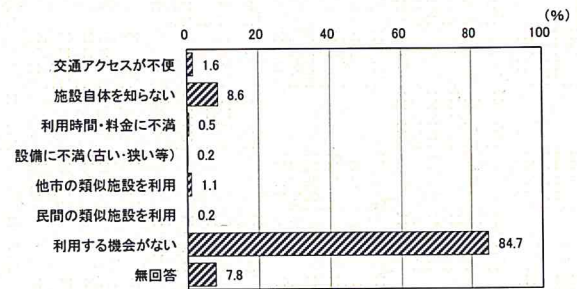
文化ホール (MA n=612)



図書館 (MA n=513)



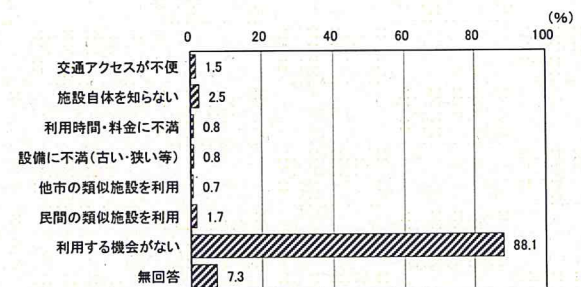
博物館・資料館等 (MA n=615)



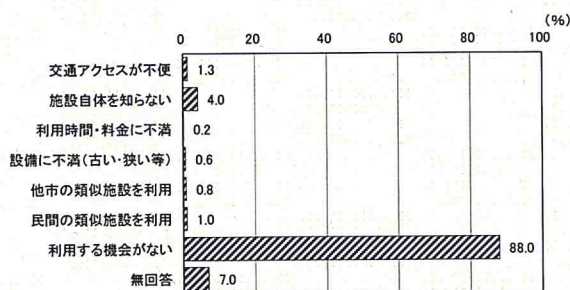
温水プール (MA n=583)



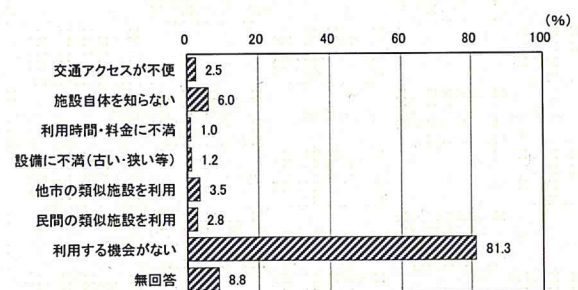
体育館 (MA n=603)



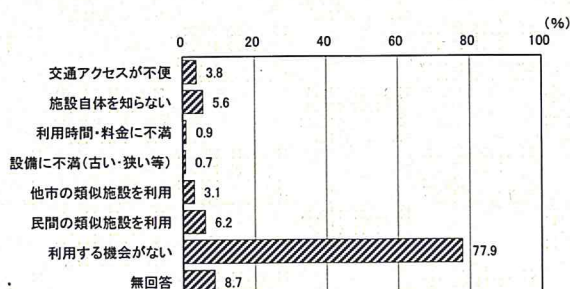
その他（ゲートボール場等） (MA n=618)



レクリエーション施設 (MA n=603)



産業（物産）施設 (MA n=552)

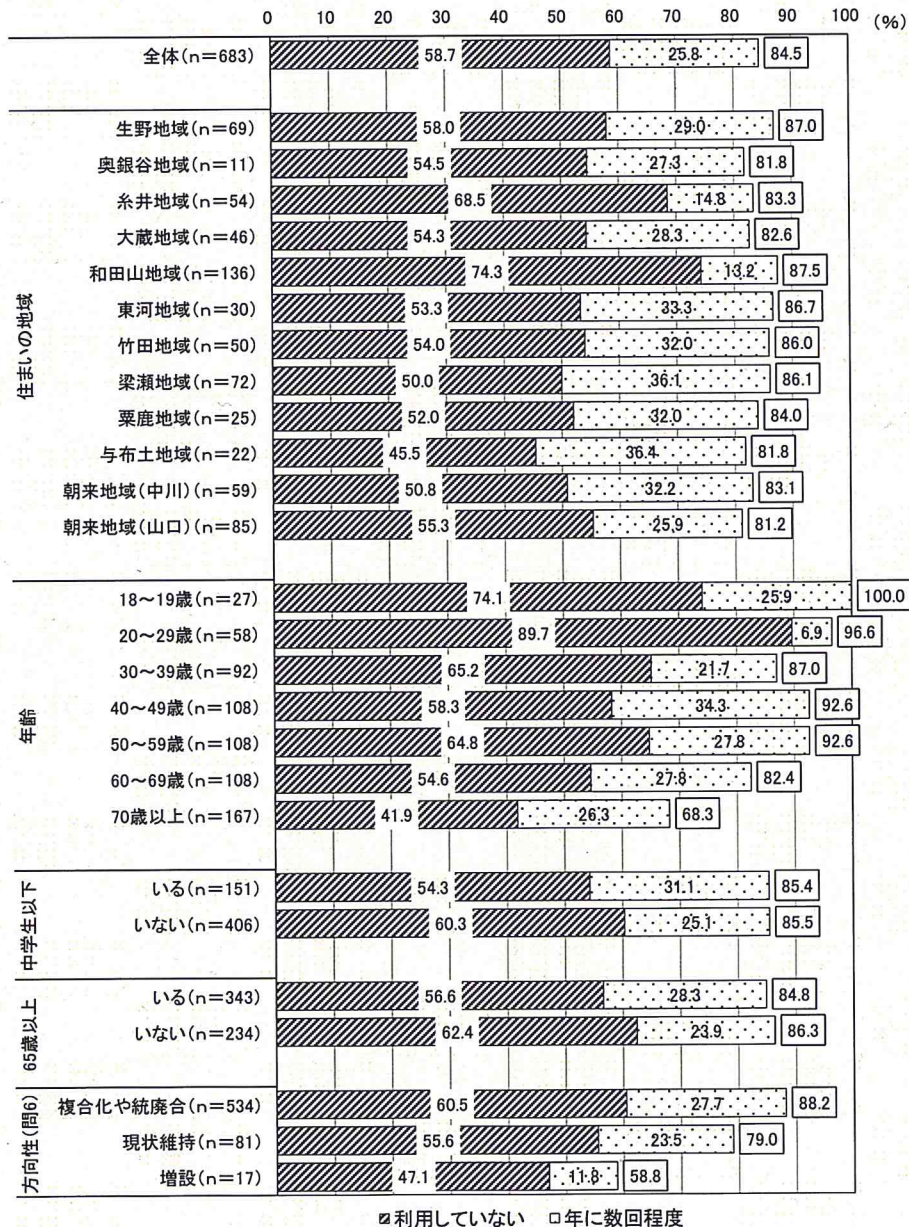


【施設別の利用の少ない人（「利用していない」「年に数回程度」）の割合

（地域、年齢、中学生以下・65歳以上の有無、方向性についての考え別）

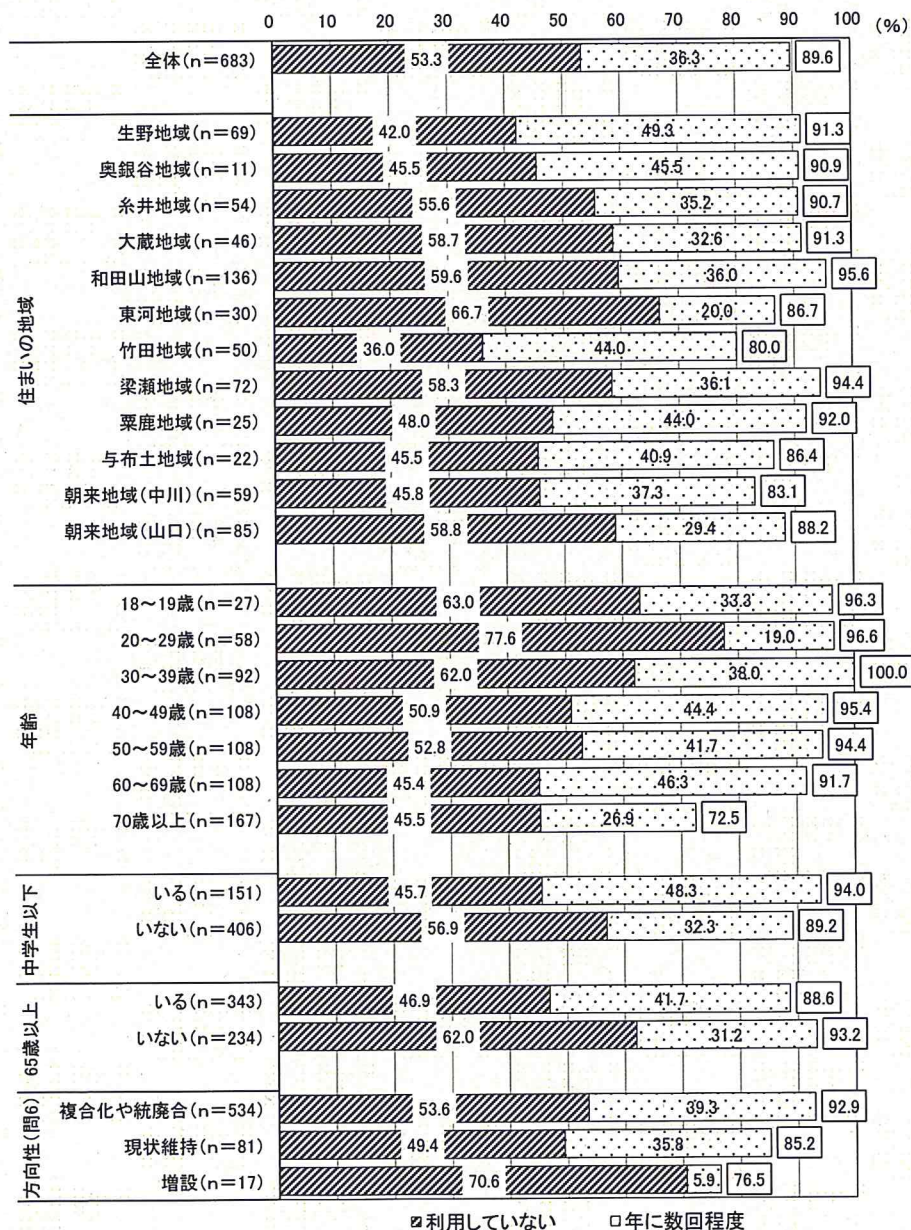
公民館等（区公民館を除く）

- 「利用していない」は全体の6割。若い人ほど利用が少ない。
- ・【地域別】「利用していない」は「和田山地域」「糸井地域」等が多い。「利用していない」と「年に数回程度」を加えた利用頻度の少ない人は各地域とも8割を超えている。
- ・【年齢別】「20～29歳」など20歳代以下での利用率が低く、「18～19歳」では「利用していない」と「年に数回程度」とで100%。一方、「70歳代以上」では「利用していない」が4割にとどまっている。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】ともに「利用していない」は「いない」が「いる」を上回っている。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「複合化や統合」「現状維持」「増設」の順に「利用していない」が多い。



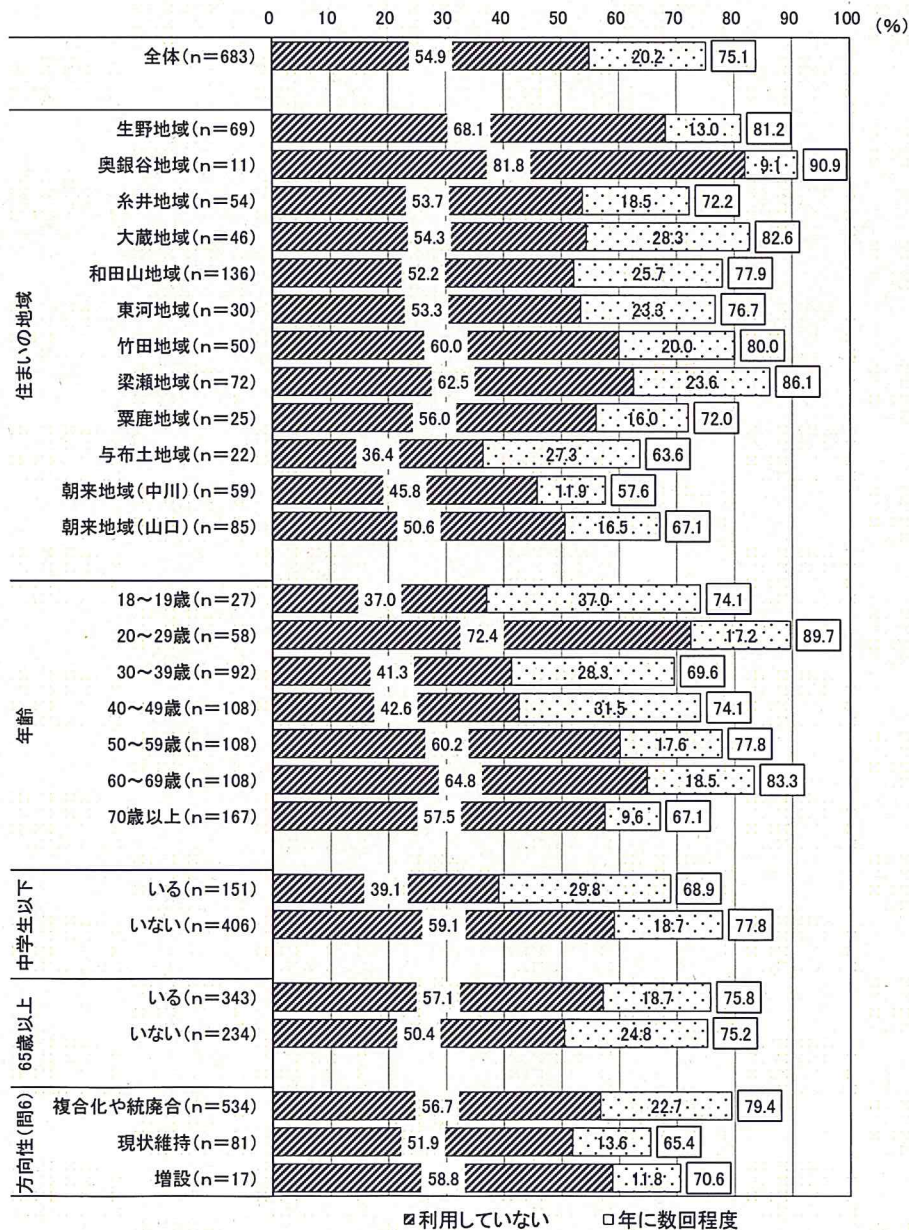
文化ホール

- 「利用していない」は全体の5割。「年に数回程度」も4割と多い。
- ・【地域別】地域により利用度に差がみられる。「東河地域」「和田山地域」「梁瀬地域」「朝来地域（山口）」「大蔵地域」「糸井地域」では「利用していない」が半数を超えている。「竹田地域」での「利用していない」は36.0%と少ない。
- ・【年齢別】20歳以上では概ね年齢が上がるにつれ「利用していない」が減る傾向。30歳代では「利用していない」と「年に数回程度」とで100%。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】ともに「利用していない」は「いない」が「いる」を上回っている。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「増設」「複合化や統合」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



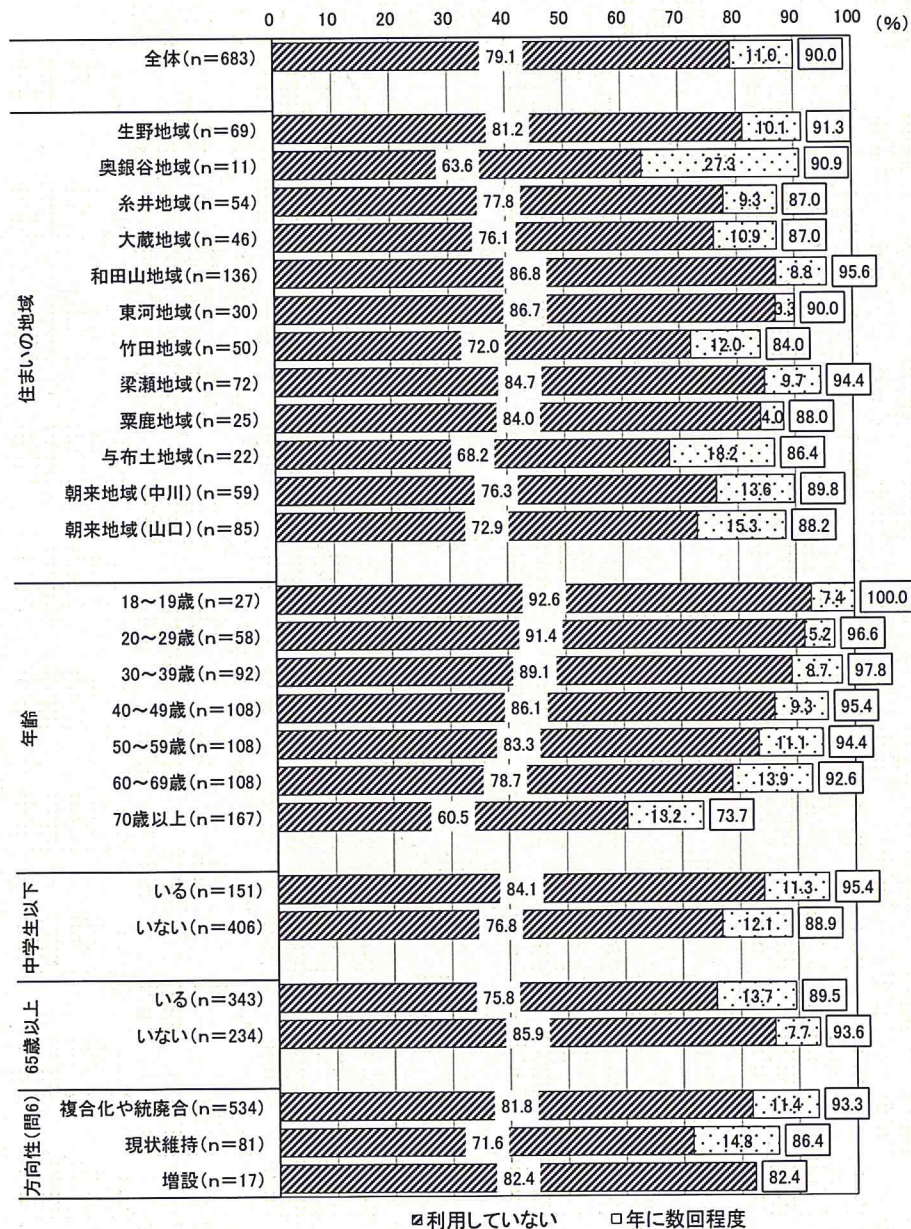
図書館

- 「利用していない」は全体の5割。利用しない人は奥銀谷地域で多く、与布土地域で少ない。年齢により利用度の差がみられる。
- ・【地域別】地域により利用度に差がみられ、「利用していない」が「奥銀谷地域」で8割以上、「生野地域」で7割を占める一方、「与布土地域」「朝来地域（中川）」等では「利用していない」が少ない傾向。
- ・【年齢別】「利用していない」は、20歳代、60歳代等で多く、10歳代と30～40歳代で比較的少ない傾向。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】中学生以下が「いない」世帯、65歳以上が「いる」世帯で「利用していない」が多い。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「増設」「複合化や統合」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



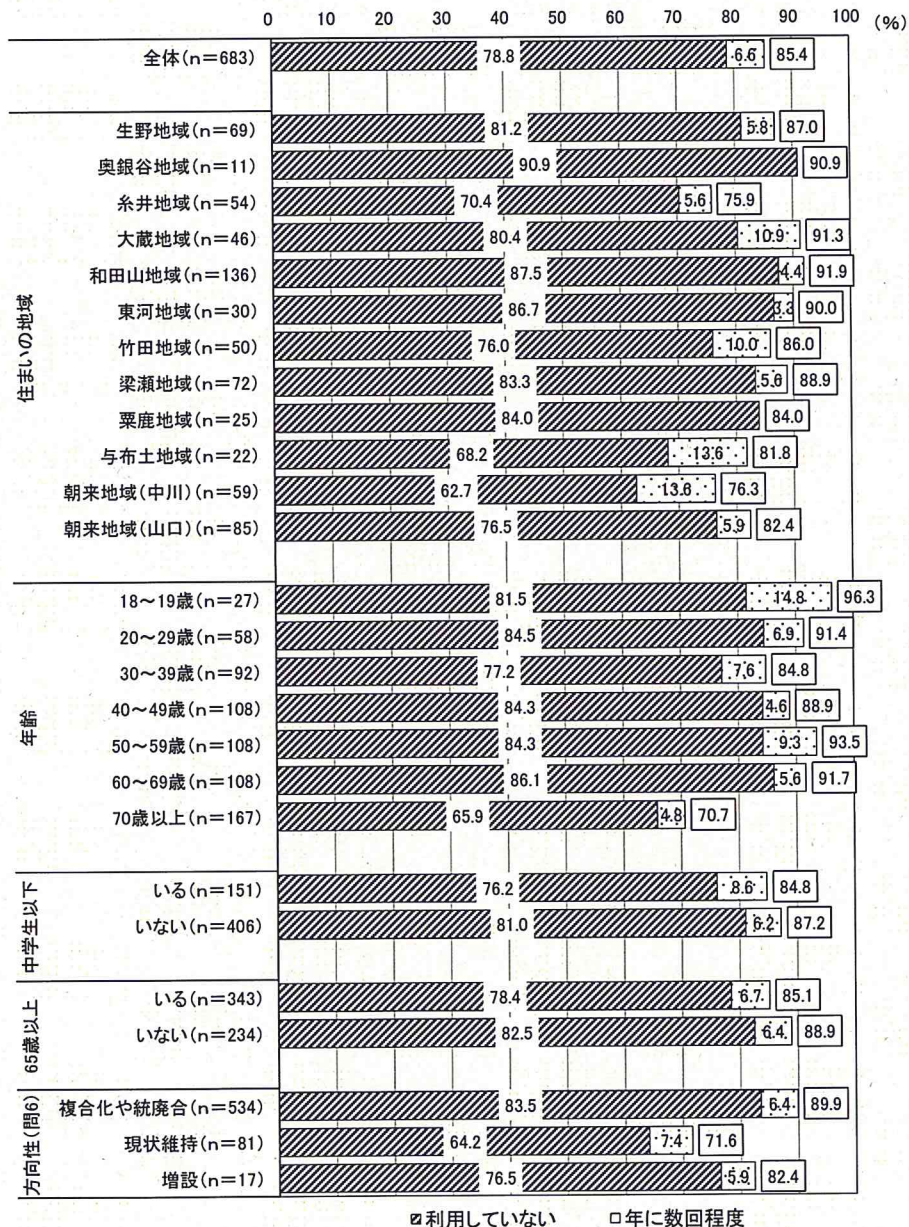
博物館・資料館等

- 「利用していない」は全体の8割。若い世代の利用が少ない。
- ・【地域別】各地域とも「利用していない」が多い。「奥銀谷地域」「与布土地域」「竹田地域」では「利用していない」が6～7割と少なめ。
- ・【年齢別】20歳代以下では9割以上が「利用していない」。年齢が上がるほど「利用していない」が減る傾向。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】中学生以下が「いる」世帯、65歳以上が「いない」世帯で「利用していない」が多い。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「増設」「複合化や統合」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



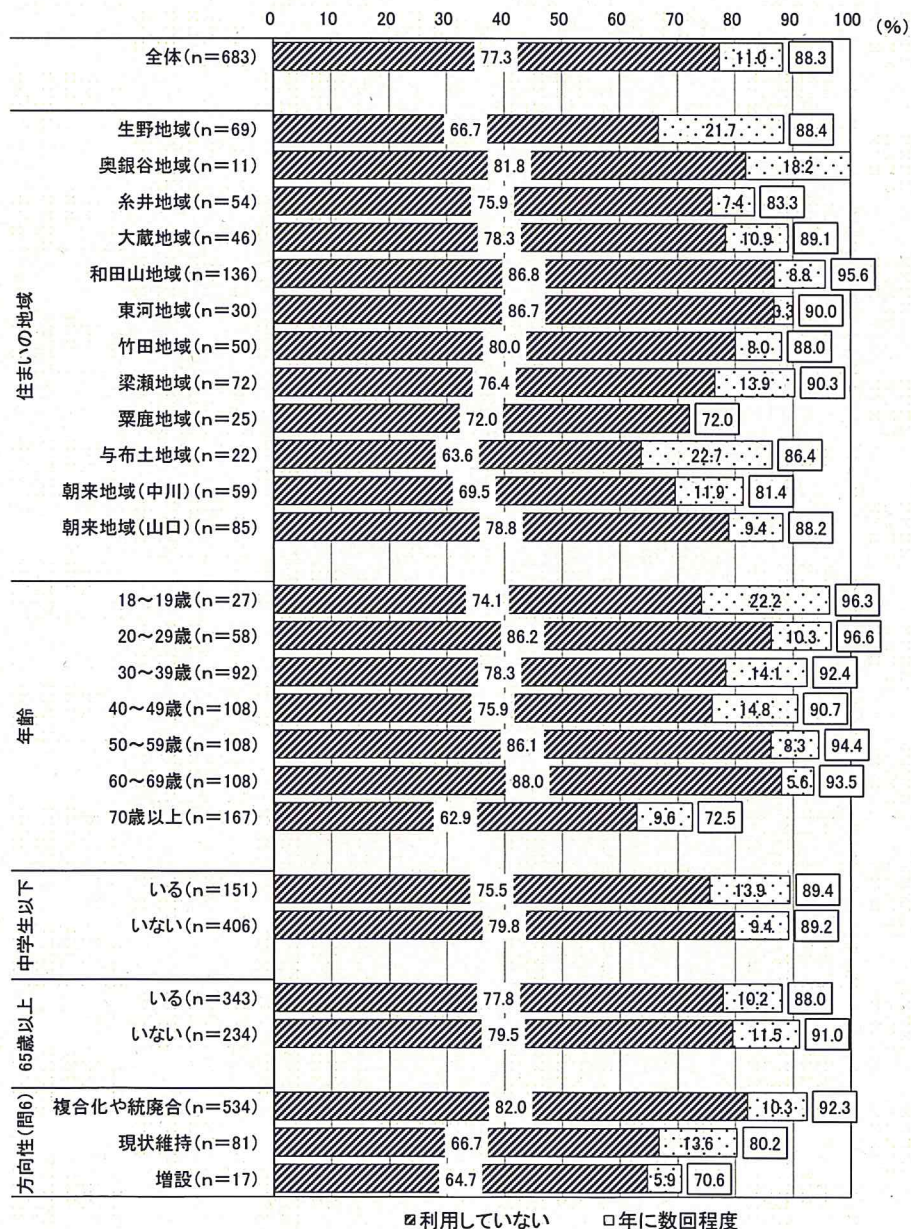
温水プール

- 「利用していない」は全体の8割。「年に数回程度」の利用は少ない。各地域、年代ともに利用しない人が多い。
- ・【地域別】各地域ともに「利用していない」が半数を超え、6～9割以上を占めている。
- ・【年齢別】各年代ともに「利用していない」が多く、30歳代で77.2%、70歳以上で56.9%。それ以外の年代では8割を超えている。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】ともに「利用していない」は「いない」が「いる」を上回っている。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「複合化や統合」「増設」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



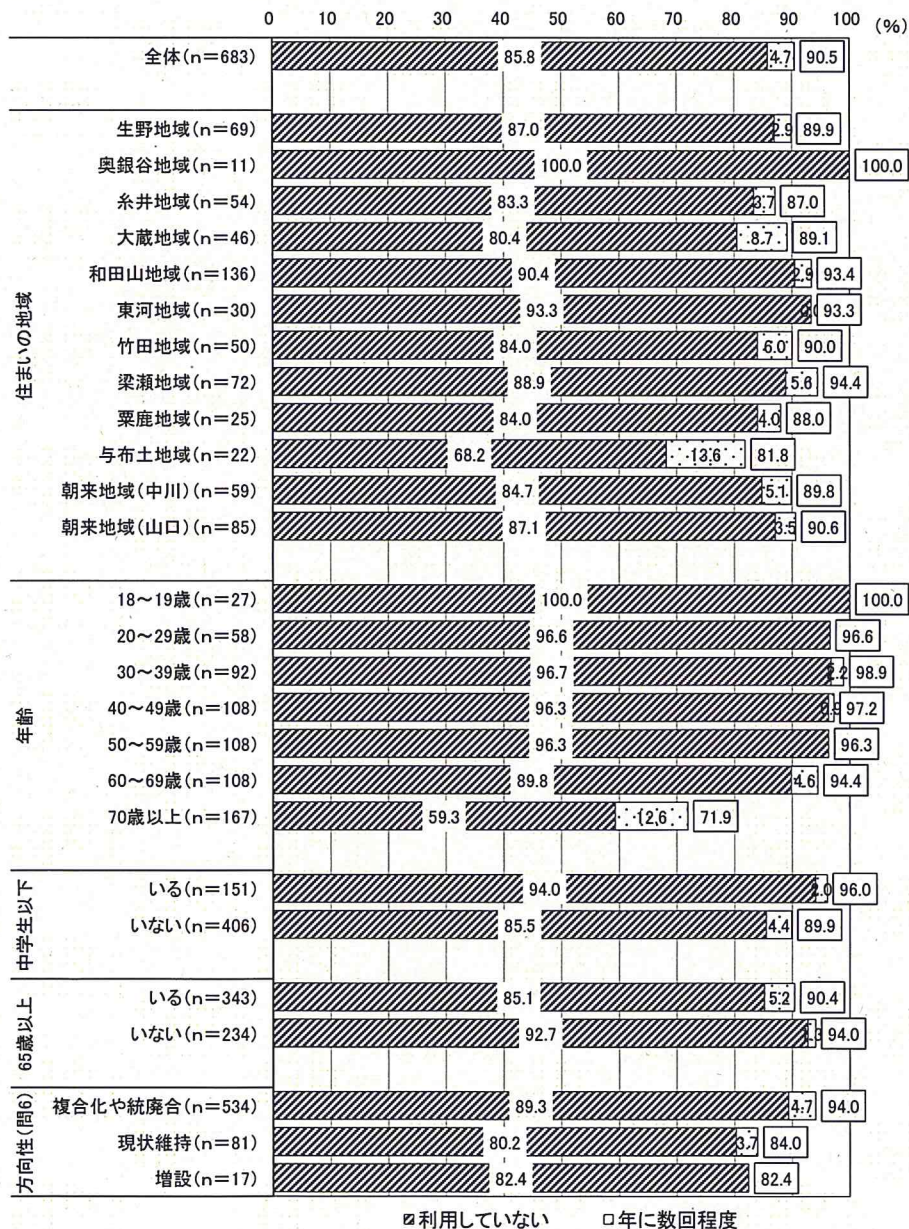
体育館

- 「利用していない」は全体の8割。各地域、年代ともに利用しない人が多い。
- ・【地域別】各地域ともに「利用していない」が半数を超え、6～9割以上を占めている。「利用していない」は「与布土地域」「生野地域」等でやや少なめである。
- ・【年齢別】各年代ともに「利用していない」が多い。特に20歳代と50～60歳代での利用が少ない。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】大きな差はみられないが、ともに「利用していない」は「いない」が「いる」を上回っている。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「複合化や統合」「現状維持」「増設」の順に「利用していない」が多い。



その他（ゲートボール場等）

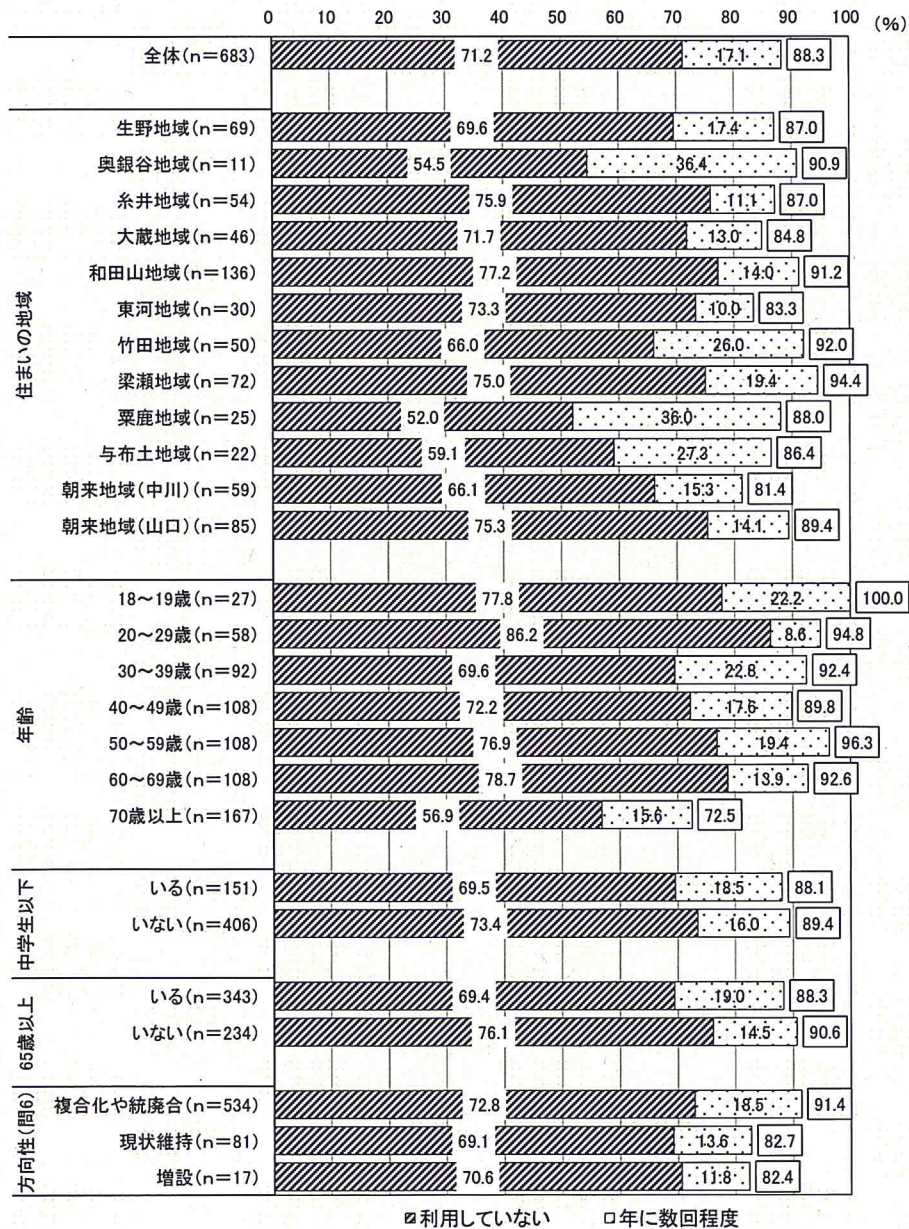
- 「利用していない」は全体の8割以上。利用していない人が比較的小さいのは、地域別では与布土地域、年齢別では70歳以上。
- ・【地域別】各地域ともに「利用していない」が多く、「奥銀谷地域」では100%を占めている。「与布土地域」では「利用していない」が比較的小さい。
- ・【年齢別】各年代ともに「利用していない」が多く、50歳代以下の各年代で9割を超えている。70歳以上では「利用していない」が6割。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】中学生以下が「いる」世帯、65歳以上が「いない」世帯で「利用していない」が多い。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「複合化や統合」「増設」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



レクリエーション施設

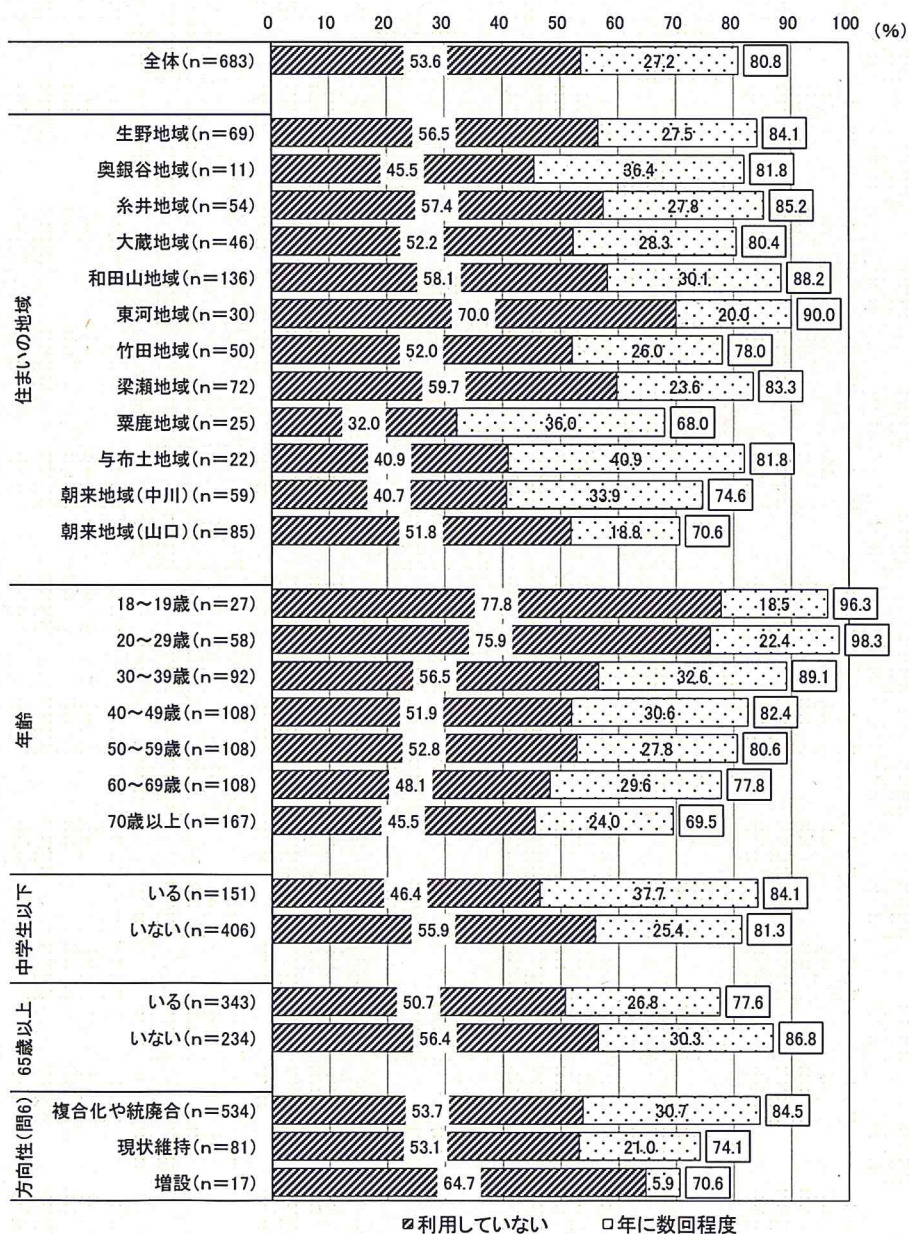
● 「利用していない」は全体の7割。

- ・【地域別】「栗鹿地域」「奥銀谷地域」「与布土地域」は「利用していない」が他地域より少なめであり、「年に数回程度」が比較的多い。
- ・【年齢別】20歳代で「利用していない」が多く、70歳代以上は「利用していない」が少なめ。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】ともに「いない」世帯で「利用していない」が多い。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】大きな差はないが、「複合化や統合」「増設」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



産業（物産）施設

- 「利用していない」は全体の5割。「年に数回程度」の利用が比較的多い。地域により利用度に差がある。年齢が低いほど利用度が低い。
- ・【地域別】「栗鹿地域」では「利用していない」が3割と少ない。一方、東河地域では「利用していない」が7割であり、地域による差異がみられる。
- ・【年齢別】20歳代以下の利用度が低く、「利用していない」は概ね年代が上がるほど減る傾向。
- ・【中学生以下の有無、65歳以上の有無別】ともに「利用していない」は「いない」が「いる」を上回っている。
- ・【公共施設の整備のあり方についての考え別】「増設」「複合化や統合」「現状維持」の順に「利用していない」が多い。



【地域における施設の立地状況等】

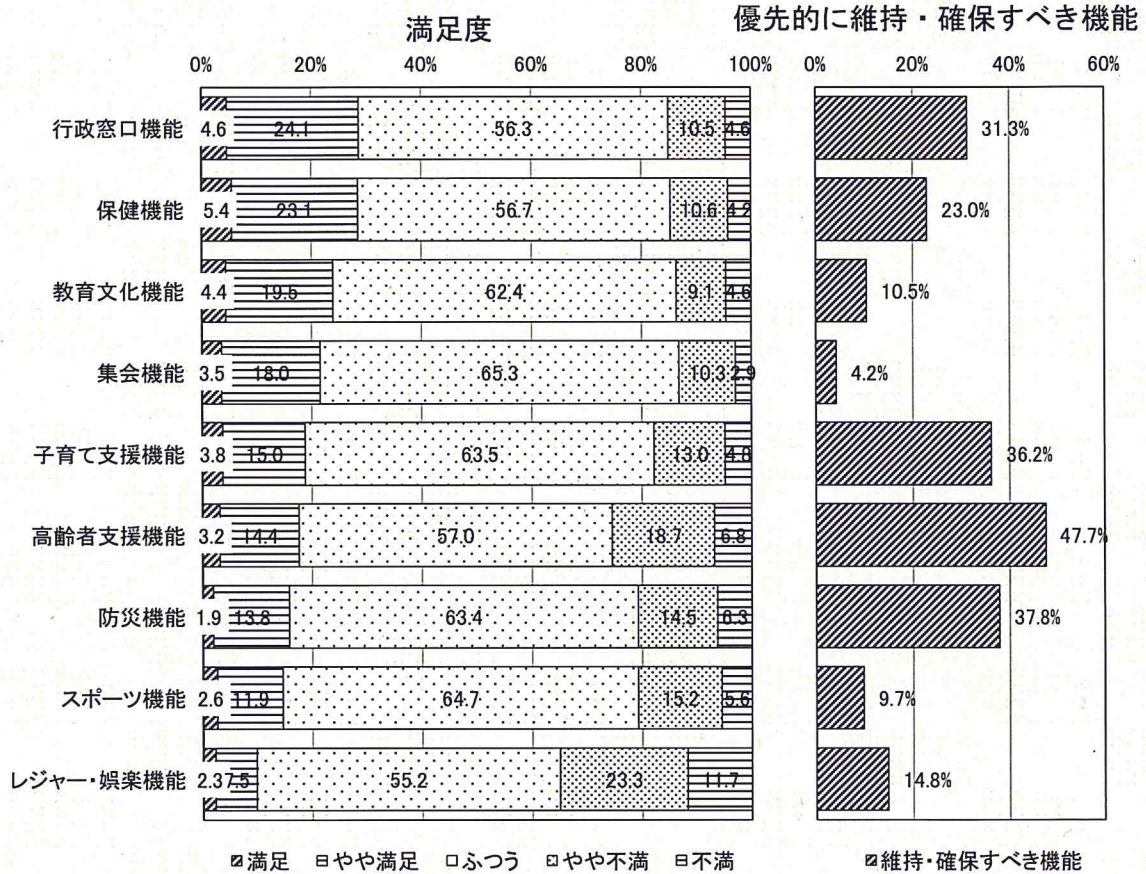
問4 あなたは、お住まいの地域での暮らしを支える「機能」について、現在の状況をどのようにお考えですか。機能別にあなたの考えに最も近いものを「①満足度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。

また、現在あなたがお住まいの地域において、暮らしやすい環境や地域の活力を維持していくために優先的に維持・確保すべき機能は、どのような機能ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、「②優先的に維持・確保すべき機能」に○印を付けてください。

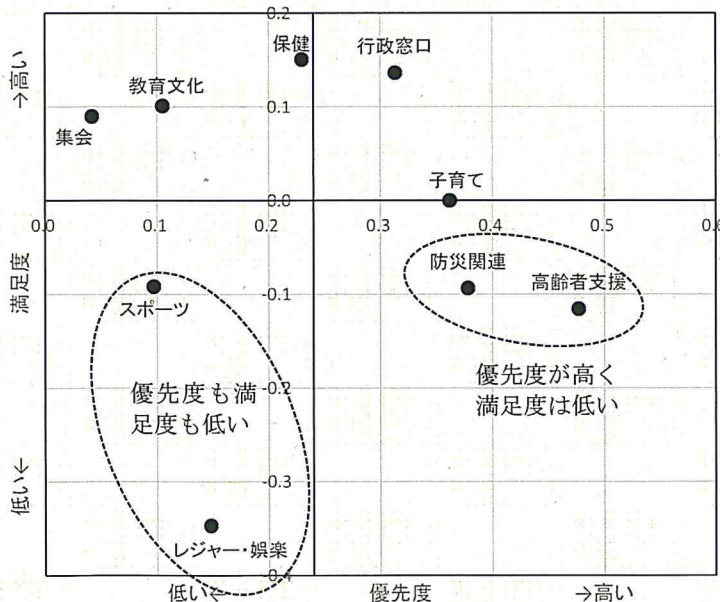
機能		①満足度					②優先的に維持・確保すべき機能
		満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	
記入例)		1	2	3	4	5	
1) 行政窓口機能	行政相談や各種手続き等のサービスを利用するための機能	1	2	3	4	5	
2) 防災関連機能	災害時における避難所や防災活動に活用する機能	1	2	3	4	5	
3) 集会機能	会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能	1	2	3	4	5	
4) 教育文化機能	図書の貸出しや郷土品等を通じて教育・文化を学べる機能	1	2	3	4	5	
5) スポーツ機能	チームや個人でスポーツができる機能	1	2	3	4	5	
6) 子育て支援機能	乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児支援機能	1	2	3	4	5	
7) 高齢者支援機能	介護や生活支援、住まいの確保など高齢者の暮らしを支える機能	1	2	3	4	5	
8) 保健機能	健診や相談、予防接種など健康づくりを支える機能	1	2	3	4	5	
9) レジャー・娯楽機能	余暇を利用しておこなう遊びや楽しさを提供する機能	1	2	3	4	5	

● 子育て支援機能、防災関連機能、高齢者支援機能は、満足度が低く、維持・確保の優先度も高い。

- ・満足度は、「行政窓口機能」「保健機能」「教育文化機能」等で高く、「レジャー・娯楽機能」「高齢者支援機能」「スポーツ機能」「防災関連機能」については不満傾向となっている。
- ・居住地で優先的に維持・確保すべき機能については、「高齢者支援機能」「防災機能」「子育て支援機能」「行政機能」「保健機能」の順に多くあげられている。一方、「集会」「スポーツ機能」「教育文化機能」「レジャー・娯楽機能」への回答率は低くなっている。



満足度と優先度の関係



- ・満足度は、満足2点、やや満足1点、やや不満-1点、不満-2点として算出した加重平均(無回答を除く回答数で除した値)。
- ・優先度は総回答者を母数とした維持確保すべき機能への回答率を評価点とした。

【地域における施設立地状況等の満足度※および優先的に維持・確保すべき機能、属性別の傾向】

※満足2点、やや満足1点、やや不満-1点、不満-2点として算出した加重平均（無回答を除く回答数で除した値）

- ・【地域別】地域により、満足度のばらつきがみられる。満足度が特に高いのは「生野地域」の「行政窓口機能」、「集会機能」、「与布土地域」の「行政窓口機能」、「東河地域」の「集会機能」、「和田山地域」の「保健機能」等。「和田山地域」「竹田地域」「糸井地域」「生野地域」「大蔵地域」等で「レジャー・娯楽機能」の満足度が特に低くなっている。優先的に維持・確保すべき機能については、「防災関連機能」「子育て支援機能」「高齢者支援機能」が上位にあがっている地域が多い。

地域における施設立地状況等の優先的に維持・確保すべき機能（地域別）

地域	各地域		満足度がマイナス		確保すべき機能(上位3位まで)		
	機能	満足度	確保すべき機能	地域	機能	満足度	確保すべき機能
生野地域	行政窓口機能	48.5	16.9	竹田地域	行政窓口機能	7.0	9.6
	防災関連機能	0.0	16.4		防災関連機能	-13.3	13.9
	集会機能	30.6	3.4		集会機能	17.4	3.5
	教育文化機能	-19.4	1.7		教育文化機能	13.3	3.5
	スポーツ機能	-12.9	5.6		スポーツ機能	4.5	1.7
	子育て支援機能	8.8	14.1		子育て支援機能	-4.8	17.4
	高齢者支援機能	-3.0	20.9		高齢者支援機能	-20.9	25.2
	保健機能	14.3	8.5		保健機能	-6.8	7.0
	レジャー・娯楽機能	-37.1	5.6		レジャー・娯楽機能	-45.5	6.1
奥銀谷地域	行政窓口機能	27.3	20.7	梁瀬地域	行政窓口機能	15.7	25.0
	防災関連機能	-9.1	20.7		防災関連機能	11.6	24.1
	集会機能	18.2	3.4		集会機能	24.3	3.6
	教育文化機能	0.0	0.0		教育文化機能	7.2	8.0
	スポーツ機能	0.0	3.4		スポーツ機能	-10.1	5.4
	子育て支援機能	20.0	10.3		子育て支援機能	1.5	28.6
	高齢者支援機能	-9.1	24.1		高齢者支援機能	-2.9	32.1
	保健機能	18.2	10.3		保健機能	7.1	17.0
	レジャー・娯楽機能	9.1	3.4		レジャー・娯楽機能	-20.6	9.8
糸井地域	行政窓口機能	-6.0	11.8	粟鹿地域	行政窓口機能	15.7	25.0
	防災関連機能	-15.7	16.0		防災関連機能	11.6	24.1
	集会機能	-10.2	4.2		集会機能	24.3	3.6
	教育文化機能	-6.1	4.2		教育文化機能	7.2	8.0
	スポーツ機能	-10.4	5.0		スポーツ機能	-10.1	5.4
	子育て支援機能	-21.3	15.1		子育て支援機能	1.5	28.6
	高齢者支援機能	-25.5	21.0		高齢者支援機能	-2.9	32.1
	保健機能	22.0	9.2		保健機能	7.1	17.0
	レジャー・娯楽機能	-42.6	0.8		レジャー・娯楽機能	-20.6	9.8
大蔵地域	行政窓口機能	25.6	9.8	与布土地域	行政窓口機能	38.9	9.7
	防災関連機能	-7.3	15.2		防災関連機能	-16.7	16.1
	集会機能	-12.5	0.0		集会機能	29.4	0.0
	教育文化機能	7.5	7.1		教育文化機能	-7.1	1.6
	スポーツ機能	-26.8	4.5		スポーツ機能	6.7	1.6
	子育て支援機能	-9.8	18.8		子育て支援機能	6.7	9.7
	高齢者支援機能	-9.1	17.9		高齢者支援機能	11.8	9.7
	保健機能	16.7	10.7		保健機能	43.8	3.2
	レジャー・娯楽機能	-33.3	8.0		レジャー・娯楽機能	-20.0	1.6
和田山地域	行政窓口機能	3.0	13.5	朝来地域(中川)	行政窓口機能	13.0	15.7
	防災関連機能	-15.3	16.2		防災関連機能	-20.8	20.0
	集会機能	-0.8	0.6		集会機能	0.0	0.9
	教育文化機能	21.4	4.8		教育文化機能	25.0	6.1
	スポーツ機能	-11.5	3.3		スポーツ機能	3.8	7.8
	子育て支援機能	-4.7	16.5		子育て支援機能	12.0	17.4
	高齢者支援機能	-13.8	19.5		高齢者支援機能	-24.1	23.5
	保健機能	29.5	11.1		保健機能	3.8	13.9
	レジャー・娯楽機能	-45.8	7.8		レジャー・娯楽機能	-36.5	6.1
東河地域	行政窓口機能	4.0	8.1	朝来地域(山口)	行政窓口機能	9.2	20.0
	防災関連機能	-4.2	17.7		防災関連機能	-2.7	23.5
	集会機能	29.6	3.2		集会機能	9.7	2.6
	教育文化機能	28.0	1.6		教育文化機能	14.9	12.2
	スポーツ機能	-15.4	3.2		スポーツ機能	0.0	7.8
	子育て支援機能	0.0	9.7		子育て支援機能	8.7	21.7
	高齢者支援機能	-22.2	22.6		高齢者支援機能	-5.4	37.4
	保健機能	20.8	9.7		保健機能	5.3	15.7
	レジャー・娯楽機能	-20.8	9.7		レジャー・娯楽機能	-26.7	14.8

- ・【年齢別、中学生以下、65歳以上の有無別】優先的に維持・確保すべき機能については、概ねの年齢層で、また、中学生以下、65歳以上のいる世帯ともに「防災関連機能」「子育て支援機能」「高齢者支援機能」を多くあげている。「防災関連機能」「高齢者支援機能」については、40歳代以上、65歳以上のいる世帯で満足度が低い傾向がみられるが、「子育て支援機能」については、若年層や中学生以下いる世帯での満足度が比較的高くなっている。

地域における施設立地状況等の満足度及び優先的に維持・確保すべき機能（年齢別）

地域	各地域		満足度がマイナス		地域	確保すべき機能(上位3位まで)	
	機能	満足度	確保すべき機能	満足度		機能	満足度
18～19歳	行政窓口機能	0.0	7.8	50～59歳	行政窓口機能	6.5	12.3
	防災関連機能	0.0	17.2		防災関連機能	-16.8	17.5
	集会機能	3.7	1.6		集会機能	11.3	3.7
	教育文化機能	22.2	7.8		教育文化機能	10.4	4.8
	スポーツ機能	-22.2	7.8		スポーツ機能	-9.6	3.0
	子育て支援機能	-11.1	21.9		子育て支援機能	-10.9	13.0
	高齢者支援機能	-11.1	15.6		高齢者支援機能	-21.0	23.4
	保健機能	0.0	7.8		保健機能	-1.0	10.0
	レジャー・娯楽機能	-55.6	7.8		レジャー・娯楽機能	-39.8	5.2
20～29歳	行政窓口機能	7.4	13.1	60～69歳	行政窓口機能	23.5	16.5
	防災関連機能	7.4	11.0		防災関連機能	-18.4	17.3
	集会機能	7.4	0.0		集会機能	17.3	2.3
	教育文化機能	9.1	6.9		教育文化機能	11.5	2.6
	スポーツ機能	-9.1	6.9		スポーツ機能	-5.2	3.8
	子育て支援機能	3.6	19.3		子育て支援機能	3.3	13.9
	高齢者支援機能	3.6	17.2		高齢者支援機能	-15.3	23.3
	保健機能	22.2	7.6		保健機能	17.3	8.6
	レジャー・娯楽機能	-40.7	11.7		レジャー・娯楽機能	-24.0	4.5
30～39歳	行政窓口機能	23.3	12.3	70歳以上	行政窓口機能	22.4	11.1
	防災関連機能	5.6	12.8		防災関連機能	-11.9	15.7
	集会機能	6.7	1.6		集会機能	17.2	1.8
	教育文化機能	26.7	4.9		教育文化機能	-3.3	2.5
	スポーツ機能	3.3	5.3		スポーツ機能	-9.2	1.8
	子育て支援機能	21.1	24.3		子育て支援機能	-1.9	7.4
	高齢者支援機能	3.3	13.6		高齢者支援機能	-12.3	23.1
	保健機能	26.7	9.9		保健機能	19.1	11.7
	レジャー・娯楽機能	-35.6	10.7		レジャー・娯楽機能	-24.2	1.8
40～49歳	行政窓口機能	0.0	16.0				
	防災関連機能	-9.4	17.8				
	集会機能	-5.7	0.4				
	教育文化機能	3.8	5.6				
	スポーツ機能	-17.0	4.5				
	子育て支援機能	-9.5	16.0				
	高齢者支援機能	-17.0	19.7				
	保健機能	13.2	9.7				
	レジャー・娯楽機能	-42.5	4.8				

地域における施設立地状況等の満足度及び優先的に維持・確保すべき機能

(中学生以下、65歳以上のいる世帯)

地域	各地域		満足度がマイナス		地域	確保すべき機能(上位3位まで)	
	機能	満足度	確保すべき機能	満足度		機能	満足度
中学生以下「いる」	行政窓口機能	17.4	11.6	65歳以上「いる」	行政窓口機能	13.2	13.2
	防災関連機能	-0.7	15.3		防災関連機能	-14.0	16.8
	集会機能	7.0	0.5		集会機能	5.8	1.7
	教育文化機能	17.6	5.3		教育文化機能	7.6	4.4
	スポーツ機能	-7.7	5.0		スポーツ機能	-13.0	3.2
	子育て支援機能	13.4	21.1		子育て支援機能	-7.2	14.2
	高齢者支援機能	2.8	16.6		高齢者支援機能	-16.0	22.8
	保健機能	31.5	10.8		保健機能	12.1	9.2
	レジャー・娯楽機能	-35.7	8.4		レジャー・娯楽機能	-39.7	5.5

3. 今後の公共施設のあり方についての考え（問5～問10）

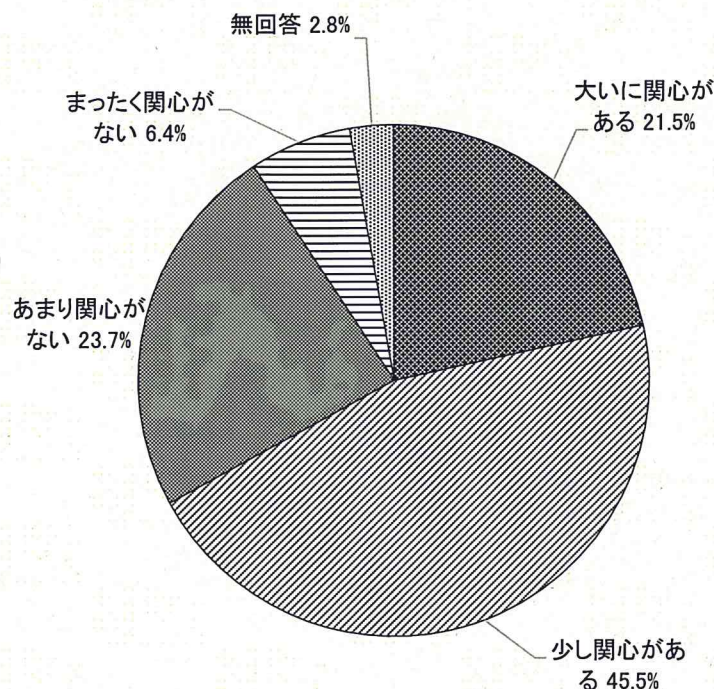
【公共施設の更新問題への関心】

問5 全国的に、公共施設の多くは昭和の時代に建設されており、老朽化が進んでいます。近い将来、多くの施設が更新（建替え）の時期を迎えますが、自治体の財政は厳しく、すべての施設を更新していくことは困難であると予測されます。

あなたはこのような「公共施設の更新問題」について関心がありますか。該当するものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

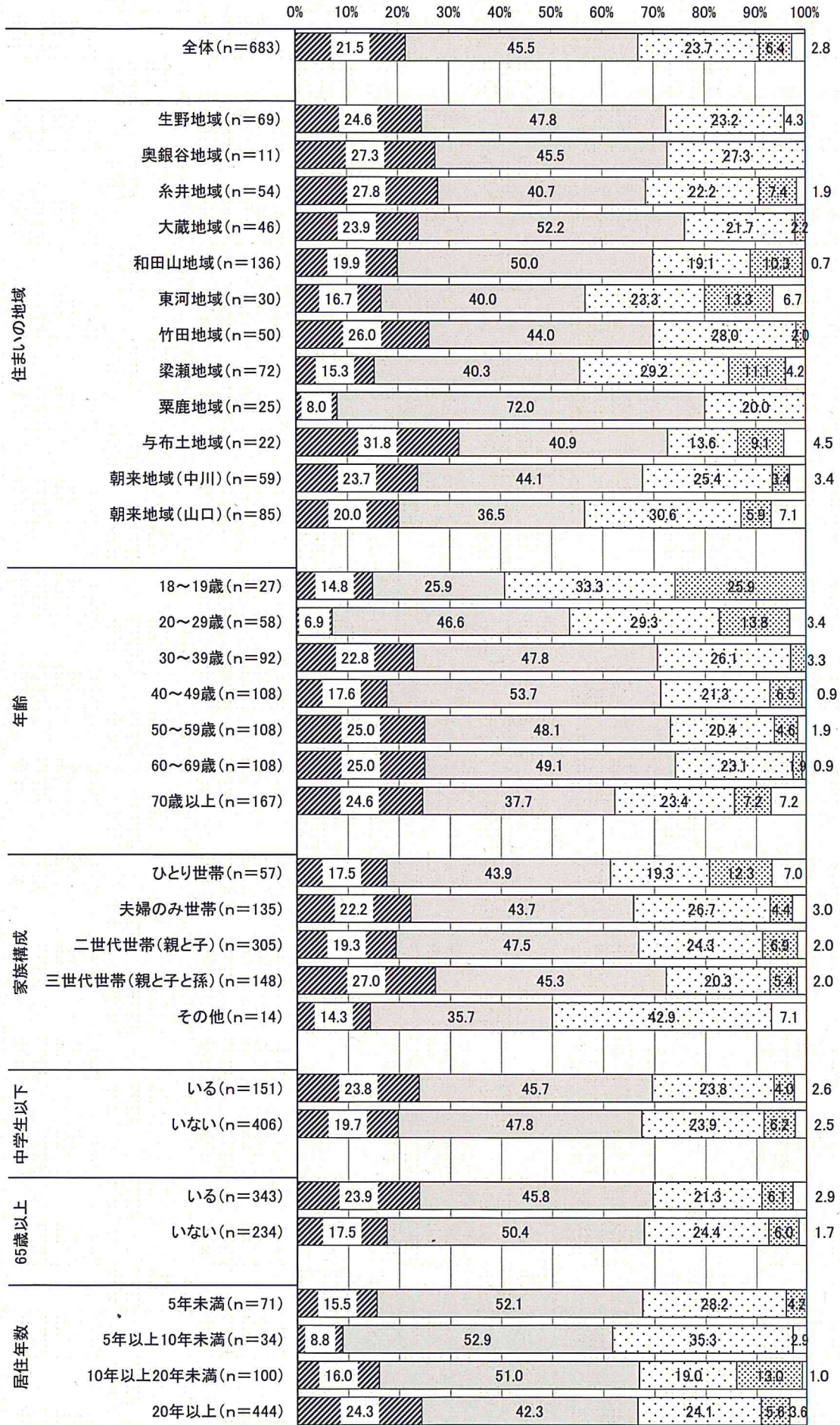
- 7割が公共施設の更新問題に関心を持っている。関心がないのは3割。
- 10歳代、20歳代の若い世代の関心が低い傾向。

- ・【全体】「少し関心がある」45.5%、「大いに関心がある」21.5%を合わせた「関心がある」は67.0%となっている。「あまり関心がない」23.7%、「まったく関心がない」6.4%を合わせた「関心がない」は30.1%である。
- ・【地域別】「生野地域」「奥銀谷地域」「大蔵地域」「与布土地域」等での関心度が高く、「梁瀬地域」「東河地域」「朝来地域（山口）」での関心度がやや低いなど、地域によりばらつきがみられる。
- ・【年齢別】30歳代から60歳代までの関心が高く、30歳代未満の関心はやや低い。「大いに関心がある」の割合は50歳代、60歳代、70歳代、30歳代が全体平均を上回っている。
- ・【家族構成別】特に「三世帯世帯（親と子と孫）」での関心が高くなっている。中学生以下の有無、65歳以上の有無別でみると、それぞれ「いる」の方が「いない」よりも関心が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」では「関心がない」が多いが、「5年未満」では一定の関心を示している。5年以上の居住者では、居住年数が長いほど「大いに関心がある」の割合が高い傾向。



(SA n=683)

公共施設の更新問題への関心（地域別、年齢別、家族構成別、居住年数別）



大いに関心がある
 少し関心がある
 あまり関心がない
 まったく関心がない
 無回答

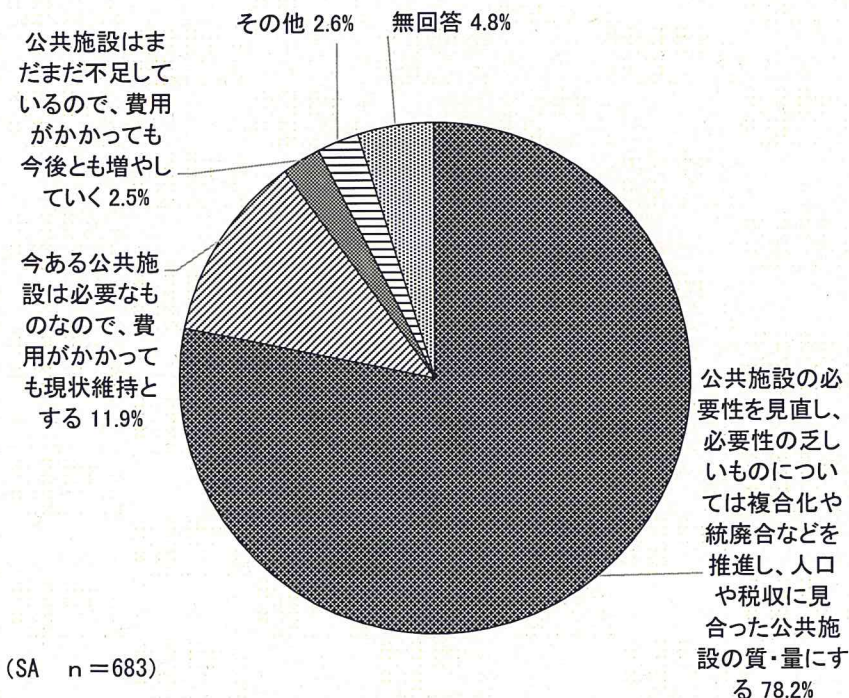
【公共施設の整備のあり方】

問6 本市においても、合併前の旧町時代を含め、これまで様々な公共施設を整備してきましたが、今後、少子高齢化が進展し、人口と税収の減少が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。

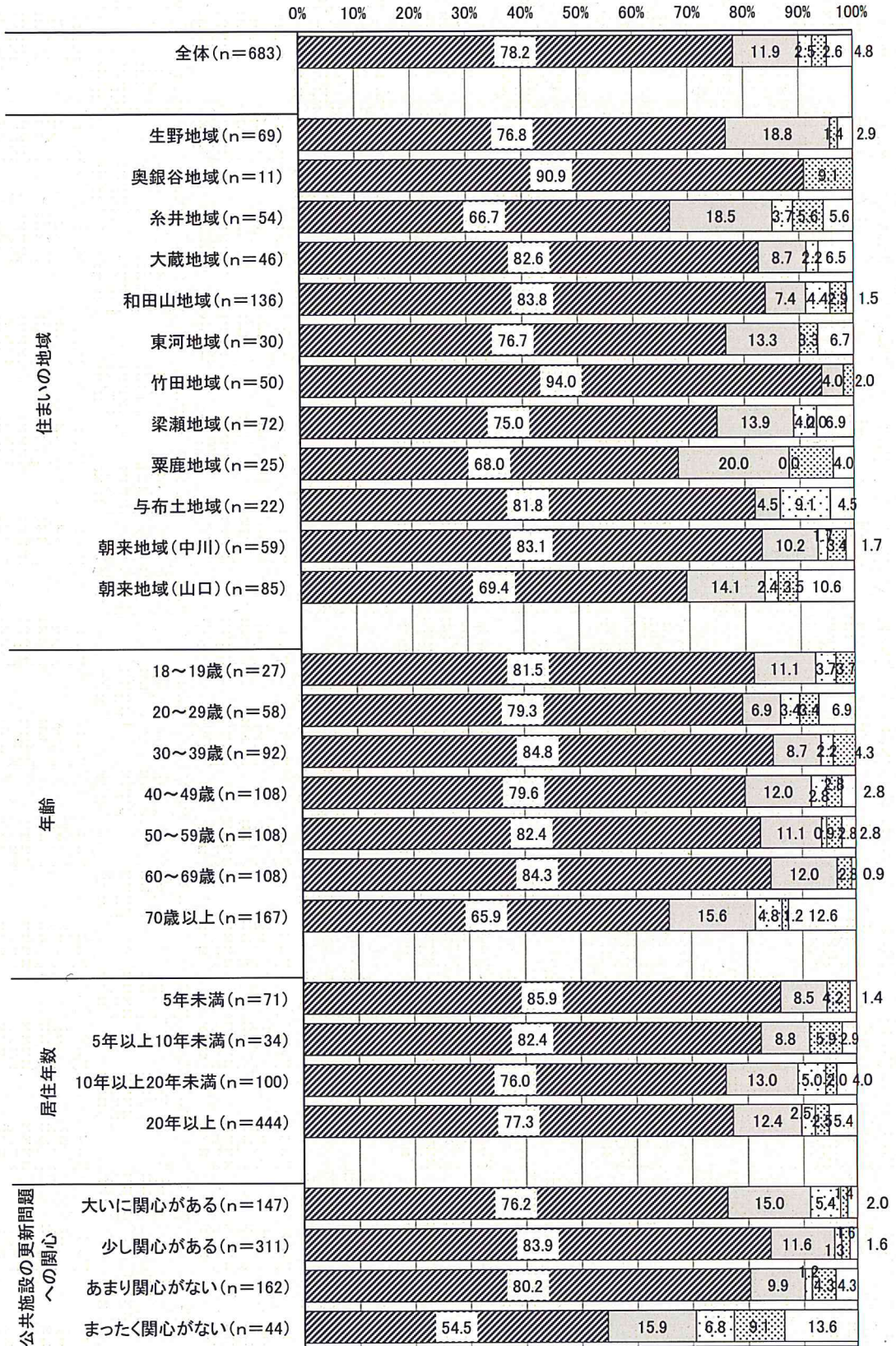
公共施設の整備に対する本市の取組みの方向性として、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

- 全体の8割が「公共施設の必要性を見直し、必要性の乏しいものについては複合化や統廃合などを推進し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」と回答している。
- 各属性ともに上記の意見が過半を占め、最も多い。

- ・【全体】「公共施設の必要性を見直し、必要性の乏しいものについては複合化や統廃合などを推進し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする（以下「複合化や統廃合」）」が78.2%を占める。「今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする（以下「現状維持」）」は21.5%、「公共施設はまだまだ不足しているので、費用がかかっても今後とも増やしていく（以下「増設」）」は2.5%とごくわずかである。
- ・【地域別】各地域ともに「複合化や統廃合」が7割以上を占め最も多くなっている。「現状維持」が比較的多いのは「栗鹿地域」「生野地域」「糸井地域」「朝来地域（山口）」等。「与布土地域」では「増設」が他地域よりも多くなっている。
- ・【年齢別】「70歳以上」で「複合化や統廃合」が65.9%とやや少ないが、他の年代では、「複合化や統廃合」が8割を占めている。
- ・【居住年数別】概ね、居住年数が短い方が「複合化や統廃合」の割合が大きい傾向がみられる。
- ・【公共施設の更新問題への関心別】「まったく関心がない」では「複合化や統廃合」が54.5%と少なく、無回答も含め回答にばらつきがみられる。「まったく関心がない」以外では「複合化や統廃合」が8割を占める。「大いに関心がある」では「現状維持」「増設」も比較的多くなっている。



公共施設の整備のあり方（地域、年齢、居住年数、公共施設の更新問題への関心別）



公共施設の必要性を見直し、必要性の乏しいものについては複合化や統廃合などを推進し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする

今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする

公共施設はまだ不足しているので、費用がかかっても今後とも増やしていく

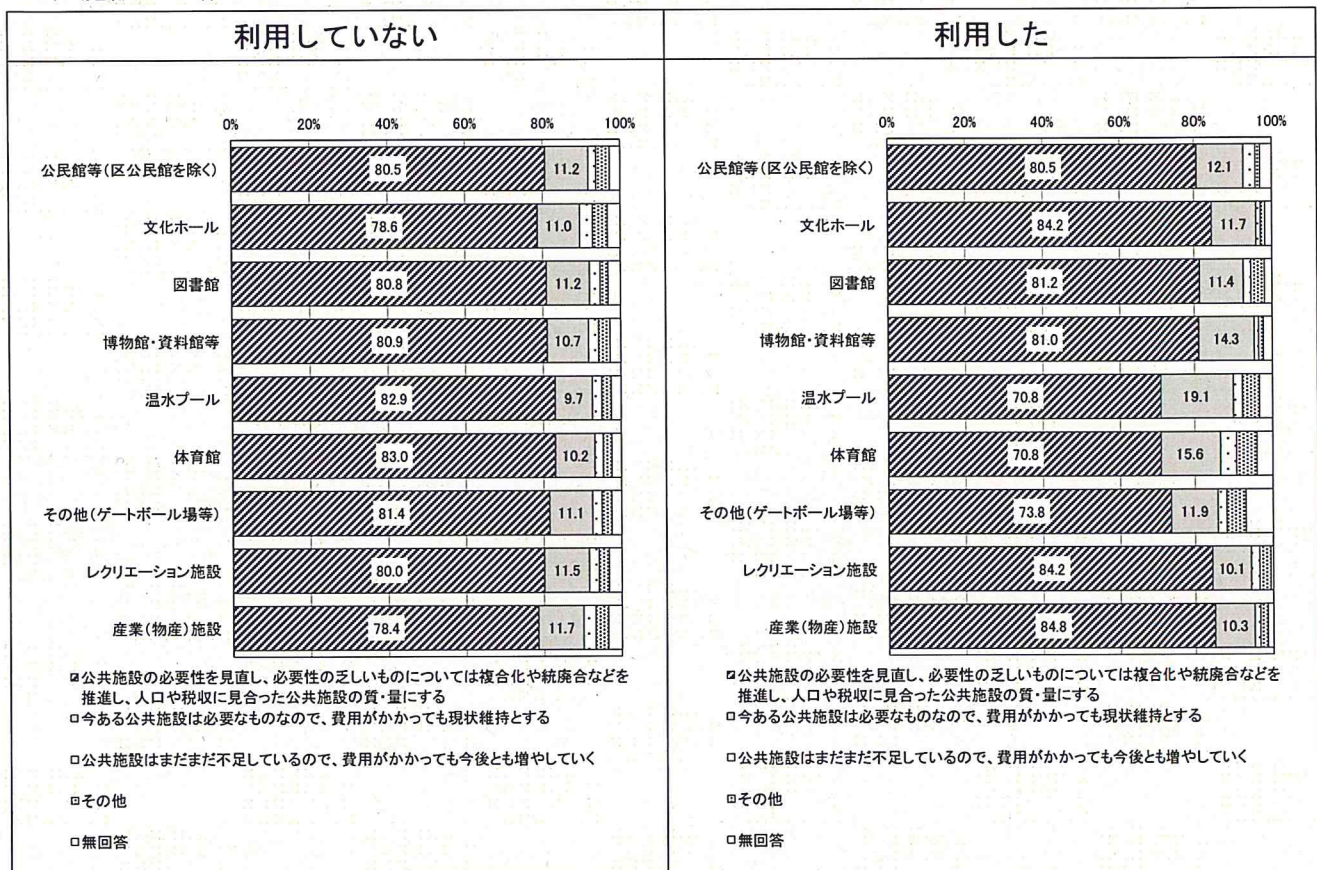
その他

無回答

【施設利用の有無（問3）別の傾向】

- ・「公民館等（区公民館を除く）」「図書館」「博物館・資料館等」「レクリエーション施設」は過去1年間の利用の有無にかかわらず「複合化や統廃合」が8割を超えている。
- ・「文化ホール」「産業（物産）施設」については、利用した人の8割以上が「複合化や統廃合」としており、「利用していない」での回答率を上回っている。
- ・「温水プール」「体育館」「その他（ゲートボール場等）」は、「利用していない」人では「複合化や統廃合」が8割を超えている。「数回以上利用」した人では、「現状維持」や「無回答」が比較的多く、「複合化や統廃合」は7割となっている。

公共施設の整備のあり方（施設別利用の有無別）

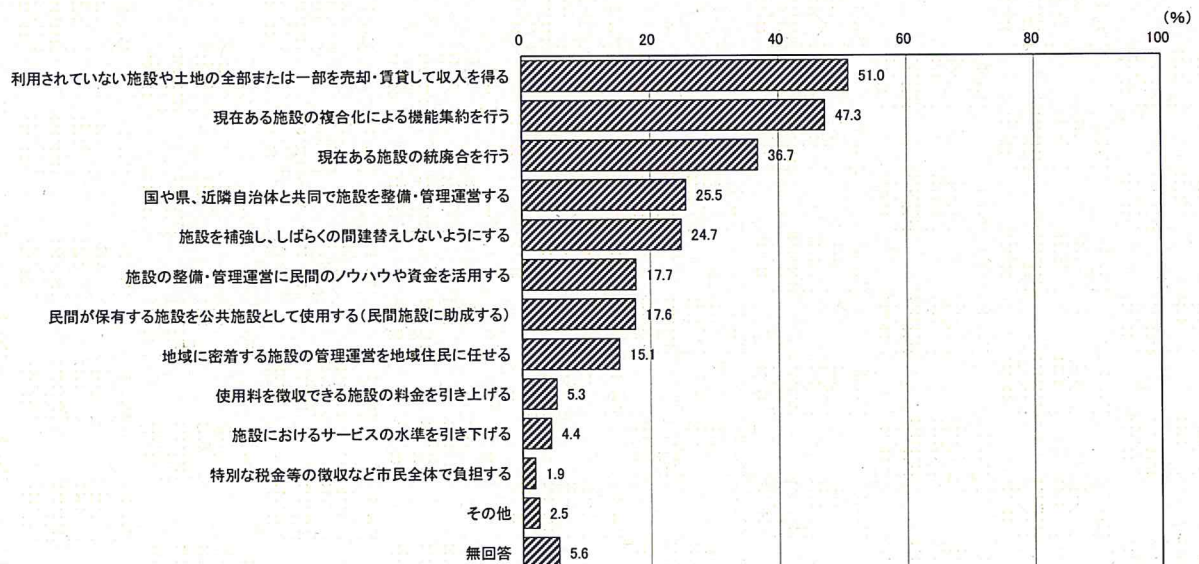


【公共施設の更新費用の負担を減らす方策】

問7 公共施設を適切に維持していくためには、公共施設の更新や運営にかかる費用を減らしていく必要があります。そのために積極的に実施すべき取り組みとして、あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」「現在ある施設の統廃合を行う」が上位。
- 若年層、子育て層は住民に任せるよりも民間活用、高齢層等ではその逆の傾向。
- 公共施設の整備のあり方についての考えによって傾向が異なる。「複合化や統廃合」では、「複合化・機能集約」「売却・賃貸」、「現状維持」では、「売却・賃貸」「施設を補強」、「増設」では「国県や近隣自治体との共同」「売却・賃貸」が1位、2位。

- ・【全体】「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る（以下「売却・賃貸」）」51.0%、「現在ある施設の複合化による機能集約を行う（以下「複合化・機能集約」）」47.3%、「現在ある施設の統廃合を行う（以下「統廃合」）」36.7%、「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」25.5%、「施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする」24.7%等の順となっている。
- ・【地域別】ほとんどの地域で「売却・賃貸」、「複合化・機能集約」が1位または2位にあげられている。「統廃合」が「糸井地域」で1位、「東河地域」「与布土地域」で2位、「施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする（以下「施設を補強」）」が栗鹿地域で2位となっている。
- ・【年齢別】【中学生以下、65歳以上の有無別】年齢や中学生以下、65歳以上の有無別にかかわらず、「売却・賃貸」、「複合化・機能集約」「統廃合」が上位となっている。「地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる（以下「地域住民に任せる」）」は若年層、および中学生以下のいる世帯で少なく、「施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する（以下「民間のノウハウ資金を活用」）」を下回っている。50歳代以上および65歳以上のいる世帯では「地域住民に任せる」が比較的多く、「民間のノウハウ資金を活用」との順位が逆転している。



(MA n=683)

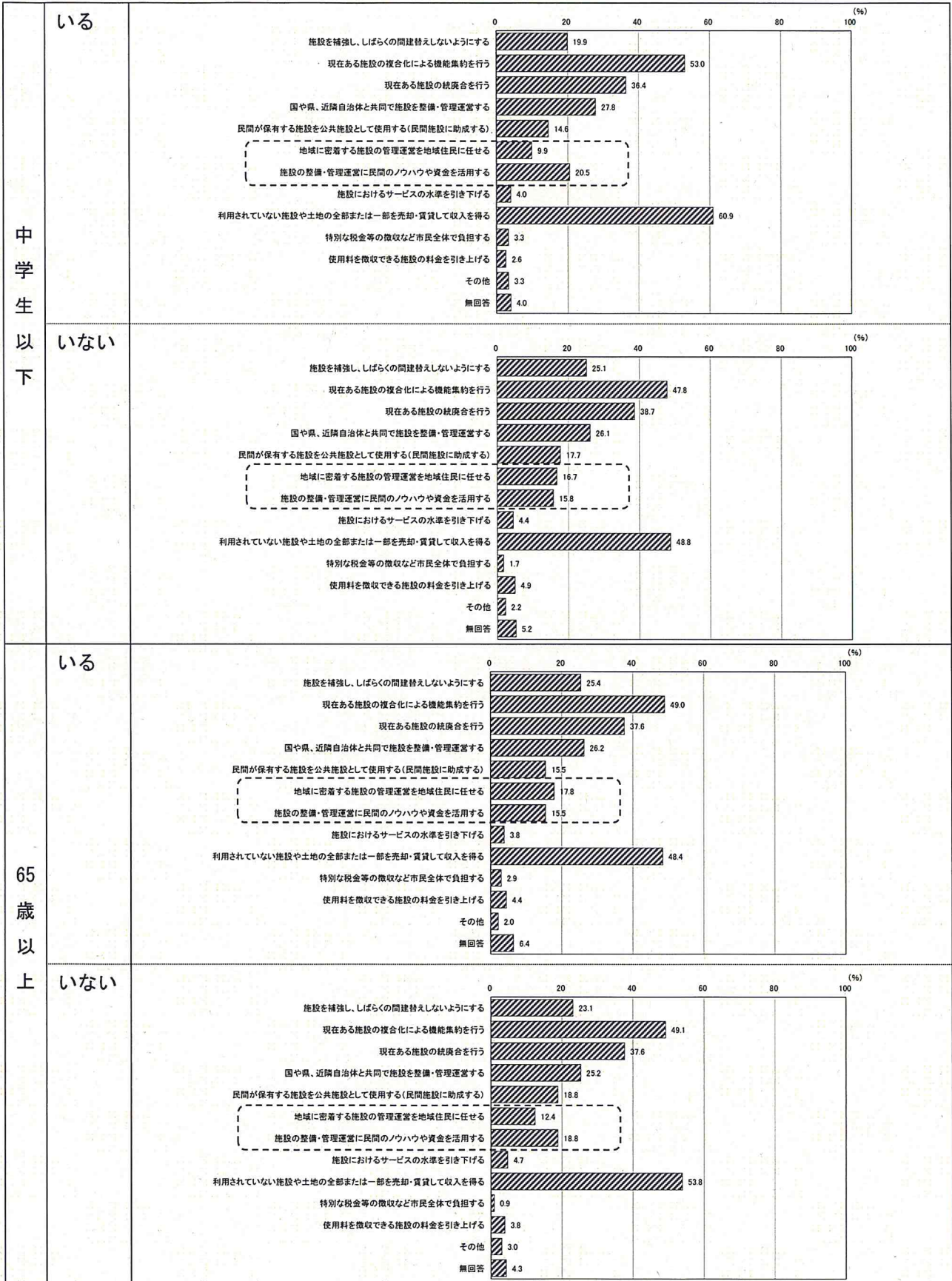
公共施設の更新費用の負担を減らす方策（地域別）

	全体	各地域											
		生野地域	奥銀谷地域	糸井地域	大蔵地域	和田山地域	東河地域	竹田地域	1位 梁瀬地域	2位 粟鹿地域	与布土地域	3位 朝来地域(中川)	朝来地域(山口)
施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする	169 24.7%	25 36.2%	1 9.1%	10 18.5%	10 21.7%	30 22.1%	4 13.3%	15 30.0%	15 20.8%	10 40.0%	4 18.2%	18 30.5%	24 28.2%
現在ある施設の複合化による機能集約を行う	323 47.3%	29 42.0%	7 63.6%	24 44.4%	27 58.7%	66 48.5%	14 46.7%	26 52.0%	35 48.6%	9 36.0%	8 36.4%	31 52.5%	37 43.5%
現在ある施設の統廃合を行う	251 36.7%	27 39.1%	3 27.3%	26 48.1%	15 32.6%	46 33.8%	14 46.7%	19 38.0%	31 43.1%	9 36.0%	9 40.9%	21 35.6%	28 32.9%
国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する	174 25.5%	13 18.8%	4 36.4%	11 20.4%	14 30.4%	45 33.1%	6 20.0%	11 22.0%	11 15.3%	5 20.0%	7 31.8%	14 23.7%	27 31.8%
民間が保有する施設を公共施設として使用する（民間施設に助成する）	120 17.6%	14 20.3%	2 18.2%	14 25.9%	6 13.0%	27 19.9%	3 10.0%	9 18.0%	18 25.0%	3 12.0%	1 4.5%	6 10.2%	10 11.8%
地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる	103 15.1%	14 20.3%	3 27.3%	10 18.5%	9 19.6%	14 10.3%	3 10.0%	7 14.0%	11 15.3%	7 28.0%	2 9.1%	7 11.9%	16 18.8%
施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	121 17.7%	13 18.8%	3 27.3%	7 13.0%	4 8.7%	32 23.5%	6 20.0%	7 14.0%	15 20.8%	1 4.0%	4 18.2%	10 16.9%	12 14.1%
施設におけるサービスの水準を引き下げる	30 4.4%	3 4.3%	0 0.0%	3 5.6%	3 6.5%	4 2.9%	1 3.3%	5 10.0%	4 5.6%	1 4.0%	1 4.5%	3 5.1%	2 2.4%
利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る	348 51.0%	41 59.4%	5 45.5%	22 40.7%	24 52.2%	67 49.3%	20 66.7%	26 52.0%	38 52.8%	15 60.0%	11 50.0%	25 42.4%	41 48.2%
特別な税金等の徴収など市民全体で負担する	13 1.9%	2 2.9%	0 0.0%	3 5.6%	1 2.2%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.5%
使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる	36 5.3%	5 7.2%	1 9.1%	1 1.9%	1 2.2%	6 4.4%	2 6.7%	4 8.0%	3 4.2%	0 0.0%	2 9.1%	2 3.4%	6 7.1%
その他	17 2.5%	0 0.0%	1 9.1%	3 5.6%	2 4.3%	4 2.9%	1 3.3%	1 2.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 5.1%	0 0.0%
無回答	38 5.6%	3 4.3%	0 0.0%	2 3.7%	2 4.3%	7 5.1%	1 3.3%	2 4.0%	6 8.3%	0 0.0%	3 13.6%	2 3.4%	6 7.1%

公共施設の更新費用の負担を減らす方策（年齢別）

	全体	各年齢						
		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする	169 24.7%	7 25.9%	15 25.9%	17 18.5%	28 25.9%	20 18.5%	28 25.9%	51 30.5%
現在ある施設の複合化による機能集約を行う	323 47.3%	9 33.3%	34 58.6%	43 46.7%	60 55.6%	59 54.6%	59 54.6%	54 32.3%
現在ある施設の統廃合を行う	251 36.7%	9 33.3%	18 31.0%	41 44.6%	37 34.3%	44 40.7%	44 40.7%	54 32.3%
国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する	174 25.5%	9 33.3%	12 20.7%	26 28.3%	25 23.1%	25 23.1%	29 26.9%	44 26.3%
民間が保有する施設を公共施設として使用する（民間施設に助成する）	120 17.6%	4 14.8%	18 31.0%	19 20.7%	22 20.4%	17 15.7%	16 14.8%	20 12.0%
地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる	103 15.1%	2 7.4%	8 13.8%	8 8.7%	11 10.2%	23 21.3%	21 19.4%	30 18.0%
施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	121 17.7%	5 18.5%	12 20.7%	26 28.3%	18 16.7%	20 18.5%	15 13.9%	19 11.4%
施設におけるサービスの水準を引き下げる	30 4.4%	2 7.4%	5 8.6%	3 3.3%	7 6.5%	5 4.6%	1 0.9%	7 4.2%
利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る	348 51.0%	13 48.1%	26 44.8%	53 57.6%	60 55.6%	59 54.6%	51 47.2%	76 45.5%
特別な税金等の徴収など市民全体で負担する	13 1.9%	0 0.0%	3 5.2%	2 2.2%	2 1.9%	2 1.9%	0 0.0%	4 2.4%
使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる	36 5.3%	2 7.4%	0 0.0%	2 2.2%	3 2.8%	6 5.6%	7 6.5%	13 7.8%
その他	17 2.5%	1 3.7%	2 3.4%	3 3.3%	4 3.7%	2 1.9%	3 2.8%	2 1.2%
無回答	38 5.6%	0 0.0%	4 6.9%	3 3.3%	3 2.8%	2 1.9%	3 2.8%	23 13.8%

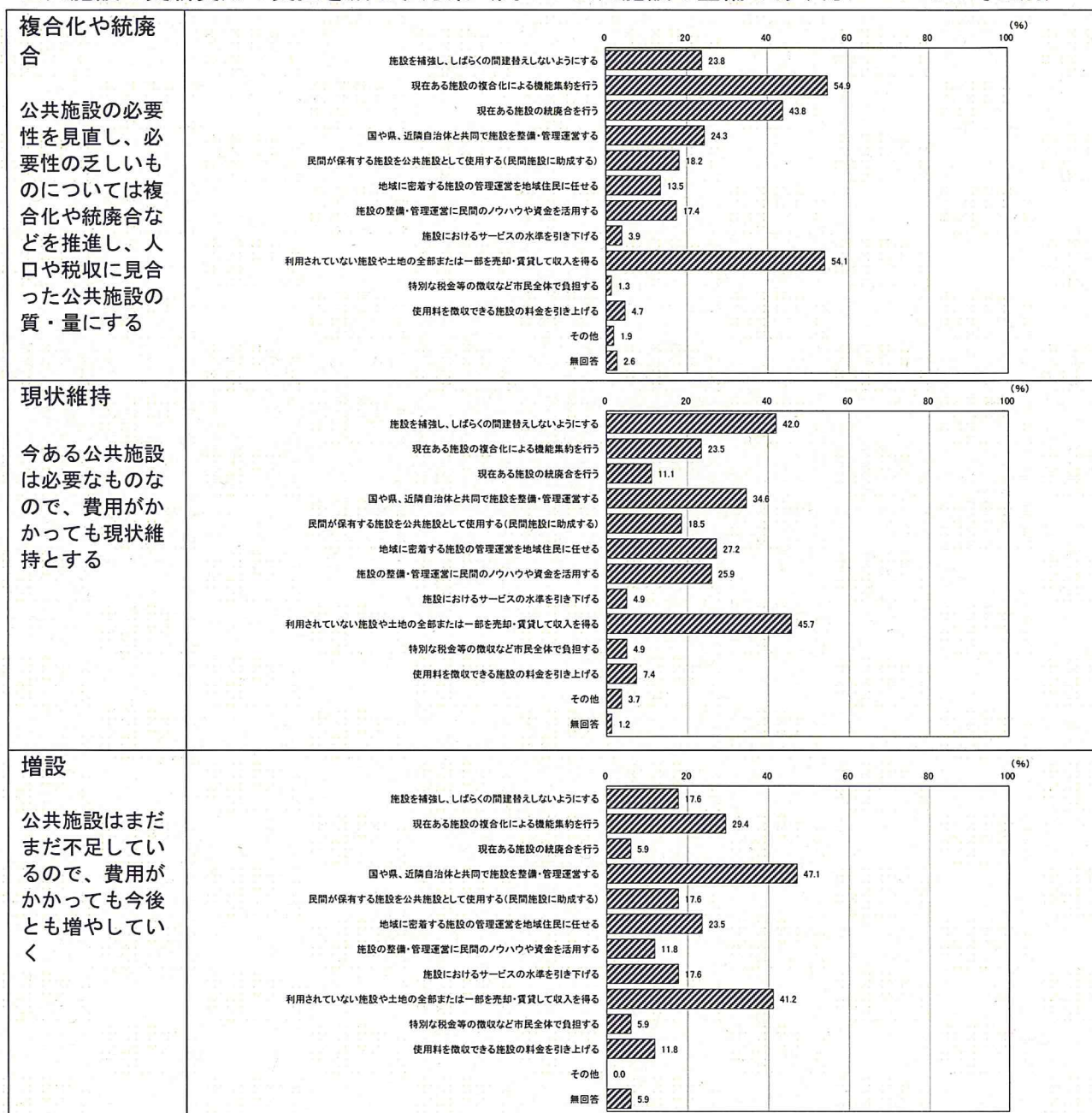
公共施設の更新費用の負担を減らす方策（中学生以下、65歳以上の有無別）



【公共施設の整備のあり方についての考え（問6）別の傾向】

- ・「複合化や統廃合」を推進すべきと考える人では、「複合化・機能集約」が1位、「売却・賃貸」が2位となっており、全体の順位と逆転している。
- ・「現状維持」の考えを持つ人では、「施設を補強」、「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する（以下「国県や近隣自治体との共同）」が「売却・賃貸」に次いで多くなっている。
- ・「増設」の考えを持つ人では、「国県や近隣自治体との共同」が「売却・賃貸」を上回り、1位となっている。
- ・「売却・賃貸」は共通して上位となっている。

公共施設の更新費用の負担を減らす方策（問6：公共施設の整備のあり方についての考え別）

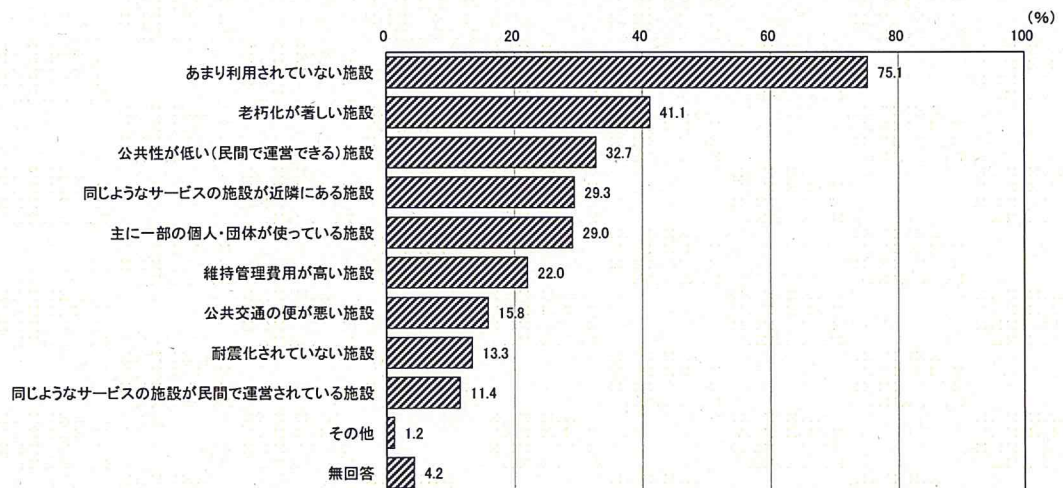


【公共施設の削減の視点】

問8 将来的に公共施設を減らしていくとしたら、どのような施設から検討していくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 「あまり利用されていない施設」「老朽化が著しい施設」等をあげる人が多い。
- 70歳以上では「公共交通の便が悪い施設」も比較的多い。

- ・【全体】 多い順に「あまり利用されていない施設」75.1%、「老朽化が著しい施設」41.1%、「公共性が低い(民間で運営できる)施設」32.7%、「同じようなサービスの施設が近隣にある施設」29.3%、「主に一部の個人・団体が使っている施設」29.3%、「維持管理費用が高い施設」22.0%、「公共交通の便が悪い施設」15.8%、「耐震化されていない施設」13.3%、「同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設」11.4%の順となっている。
- ・【地域別】 すべての地域で「あまり利用されていない施設」が1位となっている。2位以下については、地域による違いがみられる。「主に一部の個人・団体が使っている施設」は「奥銀谷地域」「東河地域」「朝来地域(中川)」等で、「公共性が低い(民間で運営できる)施設」は「奥銀谷地域」「梁瀬地域」「粟鹿地域」等で、「同じようなサービスの施設が近隣にある施設」は「糸井地域」「粟鹿地域」等で上位にあがっている。
- ・【年齢別】 すべての年齢で「あまり利用されていない施設」が1位、ほとんどの年齢で「老朽化が著しい施設」が2位となっており、地域別と比べ傾向の差は小さい。「70歳以上」では、「公共交通の便が悪い施設」をあげる人が28.7%で他の年代と比べ多い。



(MA n=683)

公共施設削減の重点（地域別）

	全体	各地域											
		生野地域	奥銀谷地域	糸井地域	大蔵地域	和田山地域	東河地域	竹田地域	梁瀬地域	粟鹿地域	与布士地域	朝来地域(中川)	朝来地域(山口)
あまり利用されていない施設	513 75.1%	54 78.3%	8 72.7%	44 81.5%	34 73.9%	109 80.1%	23 76.7%	36 72.0%	56 77.8%	12 48.0%	15 68.2%	43 72.9%	60 70.6%
主に一部の個人・団体が使っている施設	198 29.0%	18 26.1%	7 63.6%	13 24.1%	16 34.8%	35 25.7%	11 36.7%	19 38.0%	18 25.0%	8 32.0%	3 13.6%	22 37.3%	24 28.2%
公共性が低い（民間で運営できる）施設	223 32.7%	21 30.4%	5 45.5%	13 24.1%	16 34.8%	42 30.9%	10 33.3%	18 36.0%	29 40.3%	10 40.0%	7 31.8%	21 35.6%	24 28.2%
老朽化が著しい施設	281 41.1%	36 52.2%	3 27.3%	22 40.7%	21 45.7%	60 44.1%	11 36.7%	25 50.0%	21 29.2%	7 28.0%	10 45.5%	20 33.9%	33 38.8%
維持管理費用が高い施設	150 22.0%	15 21.7%	4 36.4%	7 13.0%	12 26.1%	29 21.3%	6 20.0%	14 28.0%	15 20.8%	3 12.0%	4 18.2%	16 27.1%	18 21.2%
耐震化されていない施設	91 13.3%	13 18.8%	1 9.1%	7 13.0%	5 10.9%	23 16.9%	3 10.0%	6 12.0%	6 8.3%	6 24.0%	1 4.5%	7 11.9%	10 11.8%
同じようなサービスの施設が近隣にある施設	200 29.3%	19 27.5%	2 18.2%	22 40.7%	12 26.1%	45 33.1%	10 33.3%	10 20.0%	21 29.2%	10 40.0%	7 31.8%	17 28.8%	22 25.9%
同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設	78 11.4%	7 10.1%	2 18.2%	5 9.3%	2 4.3%	15 11.0%	2 6.7%	6 12.0%	14 19.4%	3 12.0%	2 9.1%	8 13.6%	9 10.6%
公共交通の便が悪い施設	108 15.8%	12 17.4%	1 9.1%	8 14.8%	11 23.9%	15 11.0%	7 23.3%	6 12.0%	10 13.9%	4 16.0%	4 18.2%	10 16.9%	13 15.3%
その他	8 1.2%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.2%
無回答	29 4.2%	1 1.4%	0 0.0%	3 5.6%	1 2.2%	4 2.9%	1 3.3%	1 2.0%	5 6.9%	1 4.0%	3 13.6%	0 0.0%	8 9.4%

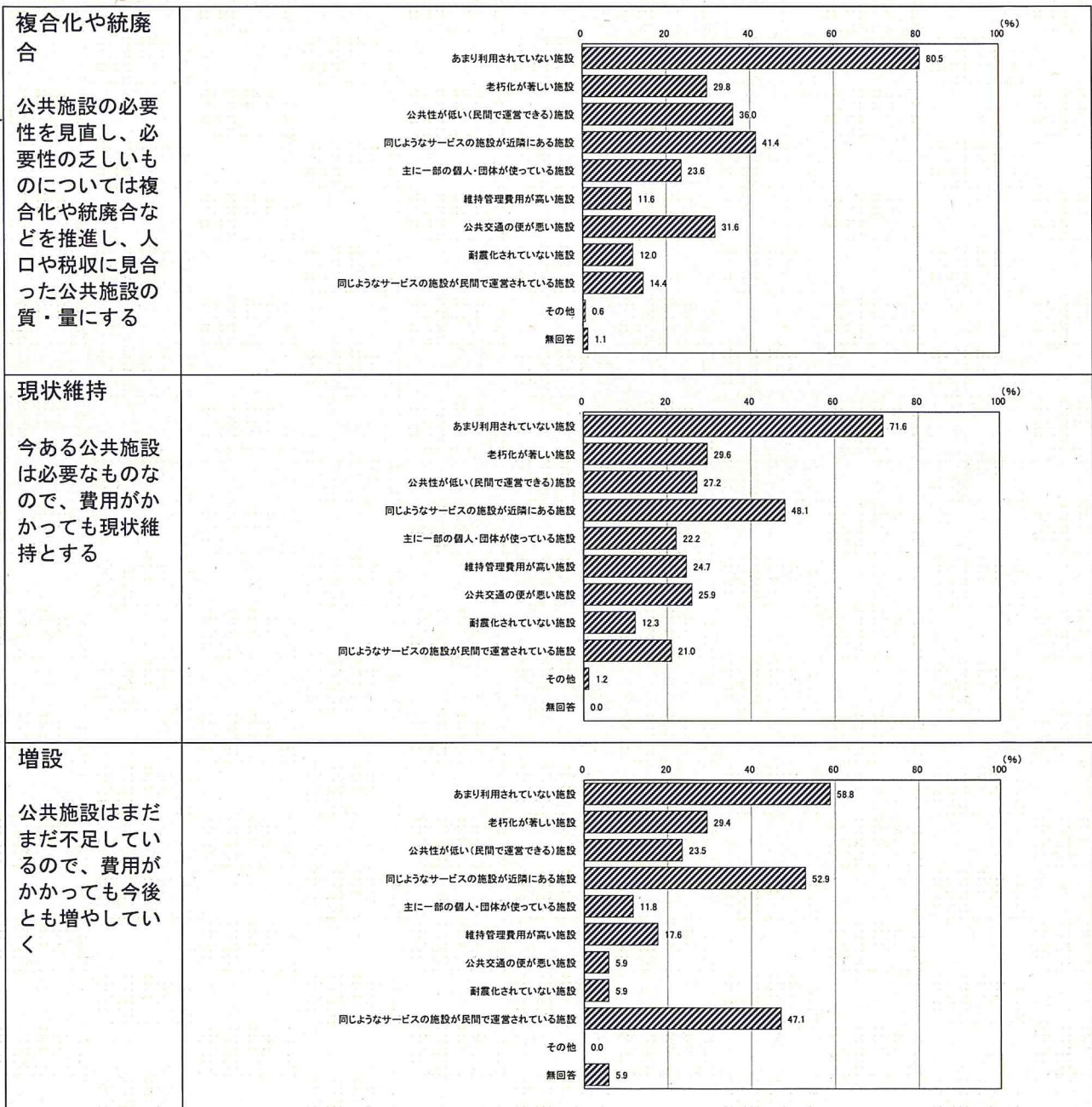
公共施設削減の重点（年齢別）

	全体	各年齢						
		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
あまり利用されていない施設	513 75.1%	23 85.2%	39 67.2%	72 78.3%	75 69.4%	86 79.6%	81 75.0%	124 74.3%
主に一部の個人・団体が使っている施設	198 29.0%	8 29.6%	17 29.3%	28 30.4%	31 28.7%	34 31.5%	38 35.2%	39 23.4%
公共性が低い（民間で運営できる）施設	223 32.7%	6 22.2%	15 25.9%	30 32.6%	46 42.6%	40 37.0%	30 27.8%	42 25.1%
老朽化が著しい施設	281 41.1%	16 59.3%	21 36.2%	36 39.1%	44 40.7%	45 41.7%	39 36.1%	64 38.3%
維持管理費用が高い施設	150 22.0%	3 11.1%	16 27.6%	16 17.4%	19 17.6%	25 23.1%	16 14.8%	39 23.4%
耐震化されていない施設	91 13.3%	5 18.5%	8 13.8%	18 19.6%	18 16.7%	17 15.7%	4 3.7%	15 9.0%
同じようなサービスの施設が近隣にある施設	200 29.3%	10 37.0%	21 36.2%	33 35.9%	37 34.3%	26 24.1%	17 15.7%	40 24.0%
同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設	78 11.4%	2 7.4%	10 17.2%	11 12.0%	7 6.5%	20 18.5%	3 2.8%	10 6.0%
公共交通の便が悪い施設	108 15.8%	3 11.1%	4 6.9%	9 9.8%	14 13.0%	13 12.0%	3 2.8%	48 28.7%
その他	8 1.2%	0 0.0%	1 1.7%	2 2.2%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	3 1.8%
無回答	29 4.2%	0 0.0%	5 8.6%	1 1.1%	2 1.9%	3 2.8%	2 1.9%	16 9.6%

【公共施設の整備のあり方についての考え（問6）別の傾向】

- ・「複合化や統廃合」を推進すべきと考える人については、全体の傾向と同様に、「あまり利用されていない施設」が突出して多くなっている。
- ・「現状維持」の考えを持つ人についても、全体の傾向と類似しているが、「公共性が低い（民間で運営できる）施設」の順位が「老朽化が著しい施設」よりも低く、全体の順位と逆転している。また、「同じようなサービスの施設が近隣にある施設」の回答が多めである。
- ・「増設」の考えを持つ人では、「あまり利用されていない施設」、「同じようなサービスの施設が近隣にある施設」、「同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設」がともに多く、特に「同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設」への回答が他と比べ多い傾向である。

公共施設削減の重点（問6：公共施設の整備のあり方についての考え別）



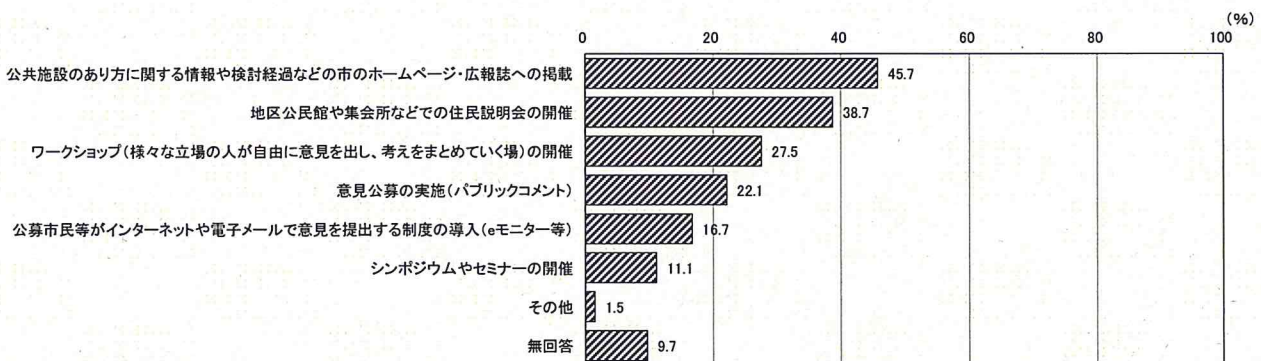
【公共施設のあり方検討における情報共有のあり方】

問9 今後は、市民の皆さまと問題意識を共有しながら公共施設のあり方を見直していくことが重要と考えています。

そのための情報共有について、どのような方法で行うのがよいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 「公共施設のあり方に関する情報や検討経過などの市のホームページ・広報誌への掲載」「地区公民館や集会所などでの住民説明会の開催」「ワークショップの開催」等をあげる人が多い。
- 各地域、ほとんどの年代で「HP、広報誌掲載」が1位。70歳以上のみ「住民説明会」が1位。このほか、年齢による傾向の差がみられる。
- ワークショップは、多くの地域、年代で比較的上位になっている。

- ・【全体】多い順に「公共施設のあり方に関する情報や検討経過などの市のホームページ・広報誌への掲載（以下「HP、広報誌掲載」）」45.7%、「地区公民館や集会所などでの住民説明会の開催（以下「住民説明会」）」38.7%、「ワークショップ（様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場）の開催（以下「ワークショップ」）」25.7%、「意見公募の実施（パブリックコメント）」22.1%、「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を提出する制度の導入（eモニター等）」16.7%、「シンポジウムやセミナーの開催」11.1%となっている。
- ・【地域別】「HP、広報誌掲載」が1位の地域が多いが、「奥銀谷地域」「東河地域」「竹田地域」「与布土地域」では「住民説明会」が1位となっている。「ワークショップ」は「和田山地域」「東河地域」で2位、ほとんどの地域で3位にあげられている。
- ・【年齢別】70歳代では「住民説明会」、それ以外の年代では「HP、広報誌掲載」が最も多くなっている。また、eモニターは30歳代以下、パブリックコメントは、30～50歳代で比較的多くあげられている。ワークショップは30歳代と50歳代以外で2位または3位にあげられている。



(MA n=683)

公共施設のあり方検討における情報共有のあり方（地域別）

	全体	生野地域	奥銀谷地域	糸井地域	大蔵地域	和田山地域	各地域			1位			2位		3位	
							東河地域	竹田地域	梁瀬地域	粟鹿地域	与布土地域	朝来地域(中川)	朝来地域(山口)			
地区公民館や集会所などでの住民説明会の開催	264 38.7%	31 44.9%	8 72.7%	22 40.7%	17 37.0%	38 27.9%	16 53.3%	23 46.0%	24 33.3%	10 40.0%	11 50.0%	24 40.7%	31 36.5%			
ワークショップ（様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場）の開催	188 27.5%	24 34.8%	2 18.2%	15 27.8%	12 26.1%	46 33.8%	12 40.0%	15 30.0%	17 23.6%	6 24.0%	3 13.6%	15 25.4%	16 18.8%			
シンポジウムやセミナーの開催	76 11.1%	5 7.2%	2 18.2%	7 13.0%	4 8.7%	18 13.2%	2 6.7%	5 10.0%	6 8.3%	3 12.0%	2 9.1%	7 11.9%	13 15.3%			
公募市民等がインターネットや電子メールで意見を提出する制度の導入（eモニター等）	114 16.7%	13 18.8%	1 9.1%	3 5.6%	7 15.2%	33 24.3%	5 16.7%	10 20.0%	16 22.2%	4 16.0%	3 13.6%	3 5.1%	13 15.3%			
意見公募の実施（パブリックコメント）	151 22.1%	16 23.2%	3 27.3%	11 20.4%	11 23.9%	27 19.9%	8 26.7%	12 24.0%	14 19.4%	3 12.0%	5 22.7%	15 25.4%	21 24.7%			
公共施設のあり方に関する情報や検討経過などの市のホームページ・広報誌への掲載	312 45.7%	38 55.1%	4 36.4%	28 51.9%	25 54.3%	61 44.9%	11 36.7%	20 40.0%	38 52.8%	13 52.0%	5 22.7%	27 45.8%	36 42.4%			
その他	10 1.5%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.9%	0 0.0%	1 2.0%	1 1.4%	2 8.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%			
無回答	66 9.7%	2 2.9%	1 9.1%	4 7.4%	3 6.5%	12 8.8%	0 0.0%	4 8.0%	7 9.7%	2 8.0%	6 27.3%	7 11.9%	10 11.8%			

公共施設のあり方検討における情報共有のあり方（年齢別）

	全体	各年齢						
		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
地区公民館や集会所などでの住民説明会の開催	264 38.7%	7 25.9%	15 25.9%	28 30.4%	27 25.0%	43 39.8%	48 44.4%	90 53.9%
ワークショップ（様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場）の開催	188 27.5%	9 33.3%	16 27.6%	23 25.0%	34 31.5%	20 18.5%	35 32.4%	47 28.1%
シンポジウムやセミナーの開催	76 11.1%	3 11.1%	4 6.9%	13 14.1%	13 12.0%	22 20.4%	9 8.3%	9 5.4%
公募市民等がインターネットや電子メールで意見を提出する制度の導入（eモニター等）	114 16.7%	8 29.6%	17 29.3%	27 29.3%	25 23.1%	19 17.6%	4 3.7%	11 6.6%
意見公募の実施（パブリックコメント）	151 22.1%	4 14.8%	14 24.1%	27 29.3%	28 25.9%	27 25.0%	24 22.2%	22 13.2%
公共施設のあり方に関する情報や検討経過などの市のホームページ・広報誌への掲載	312 45.7%	13 48.1%	23 39.7%	46 50.0%	56 51.9%	52 48.1%	51 47.2%	67 40.1%
その他	10 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.3%	3 2.8%	0 0.0%	3 2.8%	1 0.6%
無回答	66 9.7%	2 7.4%	8 13.8%	2 2.2%	5 4.6%	8 7.4%	11 10.2%	28 16.8%

【公共施設の活用アイデア】

問10 身近な公共施設を活用し、市民活動の推進が図られるようなアイデアがあれば、具体的な施設名とその活動内容を記入してください。

- ・回答者 683 人の内 81 人 (11.9%) の記入がみられた。
- ・公民館、文化ホール、図書館等を中心に多様なアイデアが寄せられている。体育館・スポーツ施設については、アイデアのほか改善要望も多い。全体を通じ、多世代等の交流に関するアイデアが多くみられる。

意見の概要

() は意見数：複数回答として整理

分類	施設名	内容
公民館等 (11)	公民館・集会所等 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の一部利用 (市民課の機能) (1) ・地域の勉強会 (農業・商業の勉強会、地域の課題解決を目的とした読書会”マチヨミ”等) (2) ・多世代交流の場 (多世代交流会、イベント、住民運営のいきいきサロン等) (3) ・平日夜、休日のおけいこ (ヨガ、生け花、お料理教室など) (1) ・区長会、老人会、体育協会、文化協会等自治協活動の拠点 (1) ・無記入 (1)
	生野公民館 (1)	・生野交流館との統合 (1)
	山東公民館 (1)	・土・日などの一般開放、雨の日の子どもの遊び場に活用
文化ホール (11)	文化ホール (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・産物や手作り市など、マーケットのようなイベント (1) ・野外フェス・ロックバンドの生ライブ、若者のコンサート開催など (2)
	和田山ジュピターホール (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・シビックプライド向上のための市民大会の開催 (1) ・養父の長寿の郷のような研修会 (1) ・映画館を定期的に (1) ・お見合いパーティーよりも気軽に、趣味、ボランティア等を通じ男女が出会い、交流できる場として活用 (1) ・ネーミングライツを活用し収益化、著名人の招へいで市民を高揚させる催しを開催 (1) ・夏祭り等のスペースとして公園との一体利用 (1) ・ジュピターホール周辺の公園で月1回の農産物マルシェを開催し、若い農業者の活動の場を拡大 (1)
	メインホール、ささゆりホール (1)	・観光・研修等の宿泊及び研修室 (1)
図書館 (6)	図書館 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・統合しても良いが、借受けや返却を身近な施設でできるように (1) ・子供から大人まで利用できる施設であり、もっと色々なことが出来る (1) ・閉館時間が早すぎ、10代~40代が利用しにくい (1)
	あさご芸術の森・森の図書館 (1)	・「人との対話を促し、知を創造する場所」としての図書館へ。(豊島区立舞台芸術交流センターあうるすぽっとの「ニュー盆踊り」や「ゆめむら」のような企画。プロジェクトマッピング、「まちじゅう図書館」の主催、「ビブリオバトル」の実施等) 喫茶ができるようにし、住民が集う場所にする。(1)
	生野図書館 (2)	・公共施設としての分離、机・椅子の増設な整備充実を望む (2)

博物館、資料館等 (2)	博物館、資料館等 (1)	・但馬に残る手仕事の講習や技術の実演紹介 (1)
	和田山歴史民俗資料館 (1)	・お祭りや、昔の生活具についての小学生の学習 (1)
温水プール (5)	プール、トレーニングジム (4)	・トレーニングジムは一カ所のみ存続 (1) ・学校単位ぐらいでコンパクトな施設がほしい (1) ・閉館時間が早すぎ、10代~40代が利用しにくい (1) ・プール・ジムを備えた複合施設 (1)
	エスポワ (1)	・時間を区切って、各地区に日替わりで開放 (1)
体育館・スポーツ施設 (10)	体育館・市民グラウンド (4)	・スカッシュなど個人でも楽しめる場を作ってほしい。お金を払ってでも行きたい。(1) ・市民の健康増進で医療・介護負担を抑える等 (3)
	山東体育館 (1)	・土・日などの一般開放、雨の日の子どもの遊び場に活用 (1)
	センター若竹 (1)	・奥地区健康増進高齢者対策の見直し、健康体操の場に (1)
	トレーニングセンター (1)	・建替えてほしい (1)
	栢原グラウンド (1)	・総合スポーツセンター施設にする (1)
	筒江農村広場スポーツ施設 (1)	・特定のチームが使用し、ほかのスポーツがしにくい (1)
レクリエーション (2)	キャンプ場等 (1)	・施設中止(他町村から来てごみは落とすがお金は落とさない) (1)
	農林業体験実習館「スカイビラさのう」 (1)	・風呂と軽食、送迎バスのある老人の憩いの場所にしてほしい。
学校 (1)	学校 (1)	・空き教室や休日の施設利用。体育館での健康増進教室。高齢者ふれあい学級開設、生涯学習課程創設、地区防災の核としての充実 (1)
子育て (2)	子ども園 (1)	・地域の住民と子供たちとの交流 (1)
	ひばり保育園 (1)	・定年後男性の生きがい活動。小物作り(木工、園芸など)、ワークショップなど。施設使用料免除希望 (1)
社会福祉 (1)	あったかプラザ (1)	・夜にも飲食店が利用できるように (1)
保健 (1)	和田山保健センター (1)	・障がい者の生活介護の場として日中の一時利用 (1)
行政 (2)	市役所 (2)	・建替えずに修復の必要 (1) ・場所が不便 (1)
公園 (3)	公園 (1)	・親子、家族で楽しめる場所、子供たちが遊べる遊具が必要 (1)
	ふれあい公園 (1)	・散歩や子供の遊び場、施設内でお茶をのめるスペース等の整備 (1)
	和田山中央公園 (1)	・年1回大骨董市 (1)
廃校園 (3)	廃校 (2)	・民間の子供向けアドベンチャー施設。屋内：ロッククライム、屋外：ゴーカート場など (1) ・カルチャーセンター(塾、習い事、体操)+お茶ができる多目的スペース(老若男女だれでもいつでも来られる) (1)
	旧山口幼稚園 (1)	・図書(大きい字の本など)を置いてほしい (1)

その他施設 の活用 (5)	ケーブルテレビセンタ ー (1)	・他の公共施設の機能や閉館時間等の概要を紹介 (1)
	竹田城跡 (2)	・白雲の城 竹田城を観光施設として十分活用 (2)
	生野町円山にある製茶 工場 (4)	・壊して道路を拡幅するか、更地にしてモニュメントを設置 (1)
	どうやまの里	・赤字であり、駐車スペースとして東河地区のイベントに活用 (1)
その他整備 充実を望む 施設・機能 等	相談所 (1)	・地域住人の悩み相談 (1)
	(避難場所)	・地域防災、避難場所の新設が急務 (1)
	(劇場)	・古典芸能 (文楽、歌舞伎、狂言、落語等) が鑑賞できる劇場。 (1)
	(ペットとの交流施設)	・ペットと交流が持てる施設 (ドッグラン、ドッグカフェ、猫 カフェ等のある施設) (1)
	(障害者の集まれる場)	・障がいの子供や大人たちの集まる場所が、広い場所で必要 (1)
	(子育て交流の場)	・子育て世代 (母親) が、施設予約なしで利用できる施設 (1)
	幼児が遊ぶ場所	・砂場、走り回る場等 (1)
	(多機能の複合施設)	・公共機関・病院・買い物・住宅などがまとまった便利な施設 (1)
	(総合病院)	・皮フ科と産婦人科がないのが疑問 (1)
	(交流系)	・気軽に情報交換、世間話をする (1) ・高齢者と乳幼児が同じところ (エリア) でお世話になれる場 所 (1)
	(ショッピングモール)	・他府県からも集客できるような大型ショッピングモールなど 世代を問わず過ごせる場所の提供 (1)
	(その他)	・昔の田舎道を走るカントリーマラソン、ロードレース (自転 車)
その他・意見要望		・趣味が多様化している。施設を多目的とし集中させる (1)
		・公共施設の情報提供が不十分。交通の便が悪い (1)
		・公共施設が少なすぎる (1)
		・市民が安く利用できる仕組み (1)
		・区長・市議等により、旧町単位で懇談会を開催 (1)
		・市職員に対する意見 (2)
	・特になし (2)	

4. 自由意見（問11）

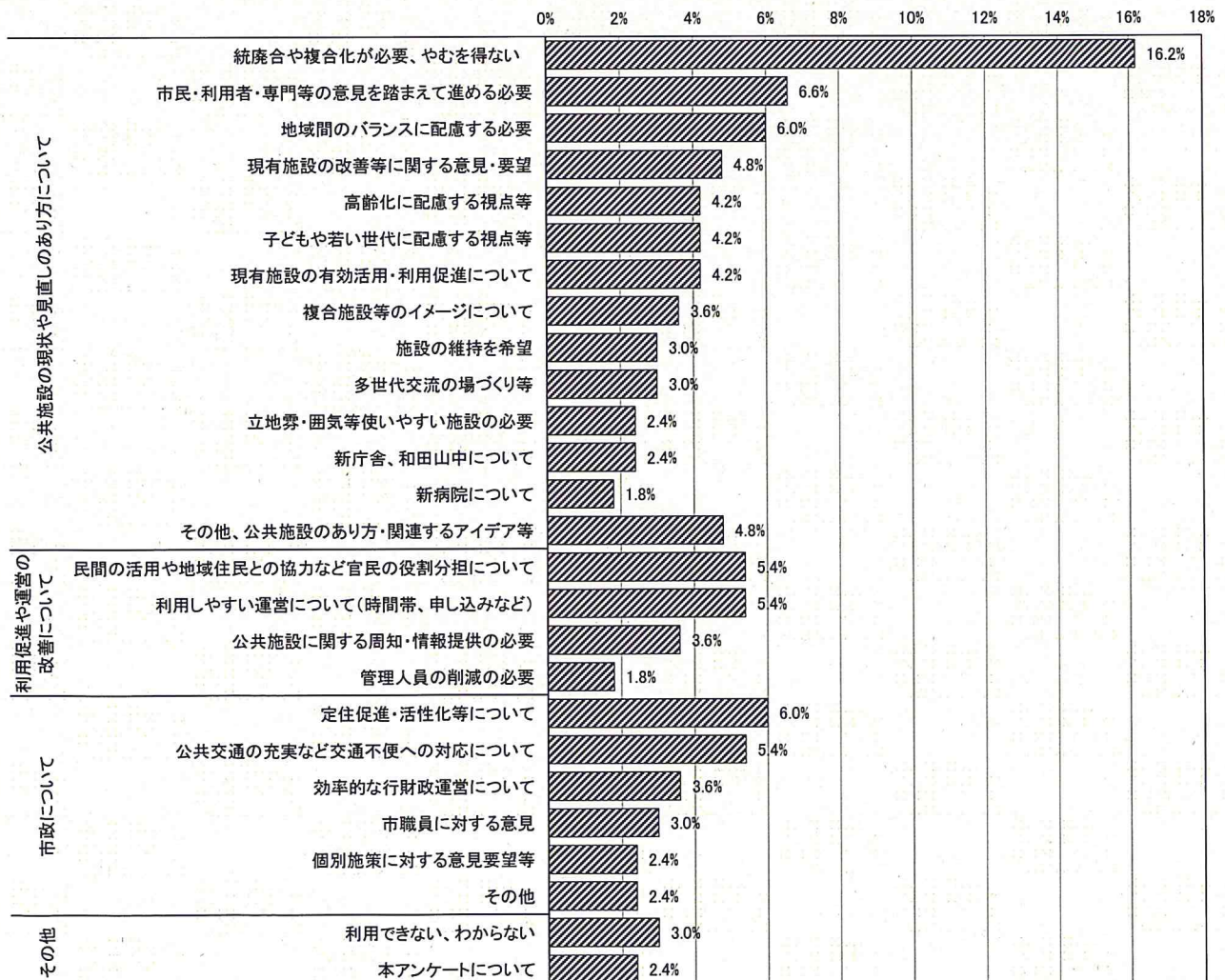
【自由意見】

問11 その他、本市の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がございましたらご記入をお願いします。

- 「統廃合や複合化が必要、やむを得ない」とする意見が多い。

- ・回答者 683 人の内 167 人（24.5%）の記入がみられた。
- ・公共施設の現状や見直しのあり方については、「統廃合や複合化が必要、やむを得ない」、「市民・利用者・専門等の意見を踏まえて進める必要」、「地域間のバランスに配慮する必要」等の意見が多く出されている。このほか「現有施設の有効活用・利用促進について」の意見や高齢化への配慮、子どもや若い世代への配慮、多世代交流、使いやすさ等の視点を求める意見が比較的多くみられた。
- ・利用促進や運営の改善に関連する意見としては、「民間の活用や地域住民との協力など官民の役割分担について」、「利用しやすい運営について（時間帯、申し込みなど）」「公共施設に関する周知・情報提供の必要」等の意見がみられた。
- ・その他、市政に関しては、市政全般に関する意見のほか、公共施設の利用にも関連し、「公共交通の充実など交通不便への対応について」の意見が多く出されている。

（%は記入数 n=167 に対する割合／複数回答として整理）



参考資料（調査票）

朝来市「公共施設」に関する市民アンケート みなさんのご意見をお聞かせください！

市民のみなさまには、日頃から市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
ございます。

本市では、これまで多様化する市民ニーズに対応するため、庁舎、学校、公民館、図書館、文化ホール、体育館、温水プール、市営住宅など多くの公共施設を整備してきました。

しかし、公共施設の老朽化が進み、大規模な改修や建替えが必要となるなか、人口減少、少子高齢化の進行による人口構成の変化や厳しい財政状況により、全ての施設を適切に維持することが困難であり、今後の公共施設の適正な管理運営に向けたあり方の検討に取り組む必要があると考えております。

そこで、これからの公共施設のあり方について、市民のみなさまの考えをお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年6月

朝来市長 多次 勝昭

◆記入にあたってのお願い

このアンケートは、あて名のご本人様がお答えください。

ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族様や介助者様の代筆で回答をお願いします。

◆アンケートの回収について

勝手ながら集計の都合上、回答後のアンケート用紙は、同封の返信用封筒に封入し、7月8日（水）までに、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

◆調査対象

無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に実施しています。

調査は無記名で行い、他の目的には使用いたしません。

◆アンケートに関する問い合わせ先

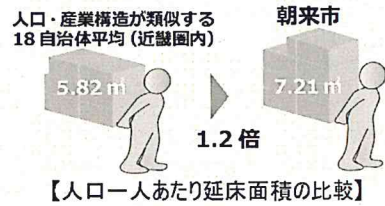
朝来市 市長公室 総合政策課

電話：079-672-6110（直通） FAX：079-672-4041

朝来市における公共施設の現状と課題

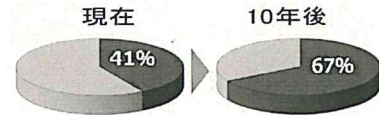
1. たくさんの公共施設を保有しています

本市は下表に示すように、多くの公共施設（ハコもの）を整備してきました。一人あたり延床面積は近畿圏内の類似都市平均の約1.2倍となっています。



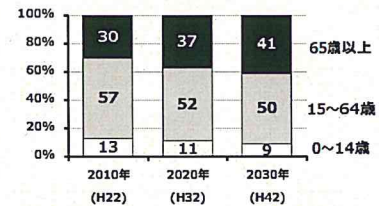
2. 老朽化が進行しています

市の公共施設の4割が築30年を超えており、さらに10年後には7割に達すると予想され、多くの施設で大規模改修や建替えの時期を迎えます。



3. 市民ニーズなどが変化しています

0～14歳の減少や65歳以上の増加などに伴い、既存施設の利用需要が変化（余剰・余裕、不足施設が発生）すると考えられます。また、建設当時と比べて、公共施設が担うべき役割・機能も変化しています。



4. 厳しい財政状況が見込まれます

働き盛りの世代の減少による税収の伸び悩み、高齢化に伴う医療・介護費用の増加等を踏まえると、公共施設の建替えなどに対して財源不足となる状況が予想されます。

※国立社会保障・人口問題研究所による推計

分類	主な公共施設の一覧
公民館等	生野公民館、生野交流館、糸井地区公民館、多世代交流センター、大蔵地区公民館、枚田岡会館、和田山公民館、東河地区公民館、竹田地区公民館、山東公民館、朝来福祉会館、朝来公民館
文化ホール	生野メインホール、和田山ジュピターホール、さんとう緑風ホール、あさご・ささゆりホール
図書館	和田山図書館、あさご森の図書館（あさごエコハウス）
博物館・資料館等	生野書院、旧生野鉱山職員宿舍、生野鉱物館、和田山歴史民俗資料館、茶すり山古墳学習館、埋蔵文化財センター、ギャラリー四季彩、朝来歴史民俗資料館、あさご芸術の森美術館（淀井敏夫記念館）、旧神子畑鉱山事務舎
温水プール	和田山温水プールエスポワ、あさごふれあいプール「くじら」
体育館	奥銀谷体育館、生野体育館、栃原体育館、センター若竹（健康増進施設高齢者センター）、和田山農業者トレーニングセンター、和田山体育センター、山東体育館、朝来体育館
その他スポーツ	生野ゲートボール広場、和田山屋内ゲートボール場、高齢者屋内運動場
レクリエーション	魚ヶ滝キャンプ場、魚ヶ滝荘、黒川体験交流センター、室尾野外活動センター、ヒメハナ公園、さんとうアウトドアビレッジ、緑ヶ丘キャンプ場、農業体験実習館「多々良木みのり館」、農林業体験実習館「スカイピラさのう」、馬場山キャンプ場、黒川温泉「美人の湯」、よふど温泉
産業（物産）	たけだ城下町交流館、山城の郷（産地形成促進施設）、山城の郷（農畜産物処理加工施設）、道の駅「但馬のまほろば」、あさご村おこしセンター、岩津道路交流施設（フレッシュあさご）
学校	中学校（4校）、小学校・分校（11校）、給食センター
子育て支援	幼稚園（2園）、保育所（2施設）、こども園（7園）、学童クラブ（4施設）
高齢者	老人福祉センター、ふれあいプラザ、高齢者活力創造センターなど
社会福祉	YOU・愛センター、あったかプラザ、共同作業所
保健	生野保健センター、和田山保健センター
行政	市役所（本庁舎、各地域庁舎）、防災センター、ケーブルテレビセンター
市営住宅	27団地
その他	クリーンセンター、駐車場、セレモニーホール、倉庫、公衆トイレなどの小規模施設

1. あなたご自身についてお尋ねします

問1 次の各項目について、該当するものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

(ア) 性別	1 男性	2 女性	
(イ) 年齢	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳
	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～64歳
	7 65～69歳	8 70歳以上	
(ウ) 家族構成	1 単身	2 夫婦のみ	3 二世帯（親・子）
	4 三世帯（親・子・孫）	5 その他（	）
a. 中学生以下の方	1 いる	2 いない	
b. 65歳以上の方	1 いる	2 いない	
(エ) お住まいの地域 ※右図参照	1 生野地域	<p>【地域区分図】</p>	
	2 奥銀谷地域		
	3 糸井地域		
	4 大蔵地域		
	5 和田山地域		
	6 東河地域		
	7 竹田地域		
	8 梁瀬地域		
	9 栗鹿地域		
	10 与布土地域		
	11 朝来地域（中川）		
	12 朝来地域（山口）		
(オ) 居住年数	1 5年未満	2 5～9年	3 10～19年
	4 20年以上		

問2 日常生活を支える移動手段について、徒歩以外で主なものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

1 自家用車（自分が運転）	2 自家用車（家族などが運転）
3 鉄道	4 バス（路線バス、アコバス）
5 タクシー	6 原付・バイク
7 自転車	8 その他（
	）

2. あなたの公共施設の利用状況についてお尋ねします

現在、本市は、保有する公共施設（P2「主な公共施設の一覧」参照）において、様々な行政サービスを提供しています。

このうち、広く不特定多数の市民利用を想定して設置している下表の施設についてお尋ねします。

問3 あなたは、過去1年間に、以下に示す分類の施設をどのくらい利用しましたか。

分類ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。

また、「①利用頻度」で「3」または「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選び（複数回答可）、番号に○印を付けてください。

分類	項目	①利用頻度				②利用していない理由（複数回答可）						
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
記入例)		1	2	③	4	①	2	3	4	⑤	6	7
1) 公民館等（区公民館を除く）		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
2) 文化ホール		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
3) 図書館		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
4) 博物館・資料館等		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
スポーツ施設	5) 温水プール	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
	6) 体育館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
	7) その他（ゲートボール場等）	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
8) レクリエーション施設		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7
9) 産業（物産）施設		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7

↓
 具体的な主な施設はP2を参照

↑
 3・4を選択した場合には、理由に○印を記入（複数回答可）

3. あなたがお住まいの地域における施設の立地状況等についてお尋ねします

現在、本市は、保有する公共施設（P2「主な公共施設の一覧」参照）において、様々な行政サービスを提供しています。

問4 あなたは、お住まいの地域での暮らしを支える「機能」について、現在の状況をどのようにお考えですか。機能別にあなたの考えに最も近いものを「①満足度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。

また、現在あなたがお住まいの地域において、暮らしやすい環境や地域の活力を維持していくために優先的に維持・確保すべき機能は、どのような機能ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、「②優先的に維持・確保すべき機能」に○印を付けてください。

機能		①満足度					②優先的に維持・確保すべき機能
		満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	
記入例)		1	②	3	4	5	○
1) 行政窓口機能	行政相談や各種手続き等のサービスを利用するための機能	1	2	3	4	5	
2) 防災関連機能	災害時における避難所や防災活動に活用する機能	1	2	3	4	5	
3) 集会機能	会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能	1	2	3	4	5	
4) 教育文化機能	図書の貸出しや郷土品等を通じて教育・文化を学べる機能	1	2	3	4	5	
5) スポーツ機能	チームや個人でスポーツができる機能	1	2	3	4	5	
6) 子育て支援機能	乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児支援機能	1	2	3	4	5	
7) 高齢者支援機能	介護や生活支援、住まいの確保など高齢者の暮らしを支える機能	1	2	3	4	5	
8) 保健機能	健診や相談、予防接種など健康づくりを支える機能	1	2	3	4	5	
9) レジャー・娯楽機能	余暇を利用しておこなう遊びや楽しみを提供する機能	1	2	3	4	5	

優先的に維持・確保すべき機能について、3つまで選択し、○印を記入

4. あなたの考える今後の公共施設のあり方についてお尋ねします

※P2「朝来市における公共施設の現状と課題」をご覧くださいからお答えください

全国的に、公共施設の多くは昭和の時代に建設されており、老朽化が進んでいます。近い将来、多くの施設が更新（建替え）の時期を迎えますが、自治体の財政は厳しく、すべての施設を更新していくことは困難であると予測されます。

問5 あなたはこのような「公共施設の更新問題」について関心がありますか。該当するものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 大いに関心がある | 2 少し関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

問6 本市においても、合併前の旧町時代を含め、これまで様々な公共施設を整備してきましたが、今後、少子高齢化が進展し、人口と税収の減少が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。

公共施設の整備に対する本市の取組みの方向性として、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

- | |
|--|
| 1 公共施設の必要性を見直し、必要性の乏しいものについては複合化(*1)や統廃合(*2)などを推進し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする |
| 2 今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする |
| 3 公共施設はまだ不足しているので、費用がかかっても今後とも増やしていく |
| 4 その他 () |

- *1 複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。
一つの施設で様々なサービスが受けられるなどのメリットがあります。
- *2 統廃合：同じ機能をもつ施設を一つに統合し、施設数を削減すること。

